

令和7年度 当初予算の概要

<目次>

1	会計別予算規模	1
2	一般会計 歳入予算の状況	2
3	一般会計 歳出予算の状況	3
4	公共事業等の状況	6
5	新規事業一覧表	10
6	知事査定事業一覧表	25
7	事業の見直し一覧表	26
8	引上げ分の地方消費税収と社会保障施策 に要する経費	33

1. 会計別予算規模

(単位:千円、%)

区 分	令和6年度	令和7年度	増 減	対前年度 増減率	令和6年度	令和7年度	増 減	対前年度 増減率
	当初	当初			当初 + 令和5年度12月補正 (その4)※ + 令和5年度2月補正 (その2)※	当初 + 令和6年度12月補正 (その2)※ + 令和6年度1月補正※ + 令和6年度2月補正 (その1)※		
会 計	A	B	B-A	(B-A)/A	C	D	D-C	(D-C)/C
一 般 会 計	805,086,700	836,552,275	31,465,575	3.9	837,375,007	871,370,271	33,995,264	4.1
特 別 会 計	(276,429,137)	(269,239,685)	(▲7,189,452)	(▲2.6)	(276,429,137)	(269,239,685)	(▲7,189,452)	(▲2.6)
	317,329,137	317,139,685	▲189,452	▲0.1	317,329,137	317,139,685	▲189,452	▲0.1
(1)県債管理	(117,931,878)	(113,333,280)	(▲4,598,598)	(▲3.9)	(117,931,878)	(113,333,280)	(▲4,598,598)	(▲3.9)
	158,831,878	161,233,280	2,401,402	1.5	158,831,878	161,233,280	2,401,402	1.5
(2)総合医療センター 資金貸付	1,344,902	1,930,526	585,624	43.5	1,344,902	1,930,526	585,624	43.5
(3)国民健康保険事業	152,660,003	149,405,379	▲3,254,624	▲2.1	152,660,003	149,405,379	▲3,254,624	▲2.1
(4)母子及び父子並びに 寡婦福祉資金貸付事業	428,866	382,163	▲46,703	▲10.9	428,866	382,163	▲46,703	▲10.9
(5)子ども心身発達医療 センター事業	2,423,813	2,550,161	126,348	5.2	2,423,813	2,550,161	126,348	5.2
(6)就農施設等資金 貸付事業等	51,755	44,602	▲7,153	▲13.8	51,755	44,602	▲7,153	▲13.8
(7)地方卸売市場事業	292,371	402,974	110,603	37.8	292,371	402,974	110,603	37.8
(8)林業改善資金 貸付事業	576,076	547,546	▲28,530	▲5.0	576,076	547,546	▲28,530	▲5.0
(9)沿岸漁業改善資金 貸付事業	242,405	192,085	▲50,320	▲20.8	242,405	192,085	▲50,320	▲20.8
(10)中小企業者等支援 資金貸付事業等	348,834	346,798	▲2,036	▲0.6	348,834	346,798	▲2,036	▲0.6
(11)港湾整備事業	128,234	104,171	▲24,063	▲18.8	128,234	104,171	▲24,063	▲18.8
企 業 会 計	63,630,845	69,617,672	5,986,827	9.4	64,881,845	72,332,963	7,451,118	11.5
(1)病院事業	7,209,670	7,521,390	311,720	4.3	7,209,670	7,521,390	311,720	4.3
(2)水道事業	19,076,902	20,682,385	1,605,483	8.4	19,076,902	23,125,201	4,048,299	21.2
(3)工業用水道事業	12,614,663	14,468,686	1,854,023	14.7	12,614,663	14,468,686	1,854,023	14.7
(4)流域下水道事業	24,729,610	26,945,211	2,215,601	9.0	25,980,610	27,217,686	1,237,076	4.8
合 計 (三 会 計)	(1,145,146,682)	(1,175,409,632)	(30,262,950)	(2.6)	(1,178,685,989)	(1,212,942,919)	(34,256,930)	(2.9)
	1,186,046,682	1,223,309,632	37,262,950	3.1	1,219,585,989	1,260,842,919	41,256,930	3.4

※ ()内は借換債を除くベース

※ 令和5年度12月補正(その4)は公共事業のみを、令和5年度2月補正(その2)は国の経済対策に係る事業のみを含んでいます。

※ 令和6年度12月補正(その2)は公共事業のみを、令和6年度1月補正及び2月補正(その1)は令和7年度当初予算と一体で実施される事業のみを含んでいます。

2. 一般会計歳入予算の状況

(単位：千円、%)

歳入区分	令和6年度当初 A	令和7年度当初 B	比較	
			増減 B - A	増減率 (B - A)/A
県 税	283,486,000	303,259,000	19,773,000	7.0
地方消費税清算金	91,131,000	92,954,000	1,823,000	2.0
地方譲与税	35,514,000	38,069,000	2,555,000	7.2
地方特例交付金	5,707,000	1,106,000	▲ 4,601,000	▲ 80.6
地方交付税	161,033,000	162,421,000	1,388,000	0.9
交通安全対策 特別交付金	291,000	294,000	3,000	1.0
分担金及び負担金	2,630,871	2,050,172	▲ 580,699	▲ 22.1
使用料及び手数料	8,219,914	8,178,818	▲ 41,096	▲ 0.5
国庫支出金	83,324,784	88,859,571	5,534,787	6.6
財産収入	953,549	966,640	13,091	1.4
寄 附 金	24,372	80,603	56,231	230.7
繰 入 金	39,051,208	45,976,039	6,924,831	17.7
繰 越 金	-	-	-	-
諸 収 入	16,786,002	14,736,432	▲ 2,049,570	▲ 12.2
県 債	76,934,000	77,601,000	667,000	0.9
合 計	805,086,700	836,552,275	31,465,575	3.9

(12月補正、1月補正、2月補正予算含みベース)

(単位：千円、%)

歳入区分	令和6年度当初 + 令和5年度12月補正 (その4)※ + 令和5年度2月補正 (その2)※ C	令和7年度当初 + 令和6年度12月補正 (その2)※ + 令和6年度1月補正※ + 令和6年度2月補正 (その1)※ D	比較	
			増減 D - C	増減率 (D - C)/C
県 税	283,486,000	303,259,000	19,773,000	7.0
地方消費税清算金	91,131,000	92,954,000	1,823,000	2.0
地方譲与税	35,514,000	38,069,000	2,555,000	7.2
地方特例交付金	5,707,000	1,106,000	▲ 4,601,000	▲ 80.6
地方交付税	161,135,936	163,824,849	2,688,913	1.7
交通安全対策 特別交付金	291,000	294,000	3,000	1.0
分担金及び負担金	3,334,289	2,798,883	▲ 535,406	▲ 16.1
使用料及び手数料	8,219,914	8,178,818	▲ 41,096	▲ 0.5
国庫支出金	98,714,148	104,634,004	5,919,856	6.0
財産収入	953,553	966,640	13,087	1.4
寄 附 金	24,372	80,603	56,231	230.7
繰 入 金	39,161,777	46,078,024	6,916,247	17.7
繰 越 金	-	-	-	-
諸 収 入	16,786,018	14,736,450	▲ 2,049,568	▲ 12.2
県 債	92,916,000	94,390,000	1,474,000	1.6
合 計	837,375,007	871,370,271	33,995,264	4.1

※ 令和5年度12月補正(その4)は公共事業のみを、令和5年度2月補正(その2)は国の経済対策に係る事業のみを含んでいます。

※ 令和6年度12月補正(その2)は公共事業のみを、令和6年度1月補正及び2月補正(その1)は令和7年度当初予算と一体で実施される事業のみを含んでいます。

3. 一般会計 歳出予算の状況【性質別】

(単位:千円、%)

区 分	令和6年度 当初 A	令和7年度 当初 B	比 較		令和7年度 当初 構成比	
			増減 B-A	増減率 (B-A)/A		
1 義務的経費	449,496,695	451,847,365	2,350,670	0.5	54.0	
内	人件費	213,182,749	213,722,711	539,962	0.3	25.5
	社会保障関係経費	124,663,048	131,447,224	6,784,176	5.4	15.7
	公債費	111,650,898	106,677,430	▲ 4,973,468	▲ 4.5	12.8
訳						
2 投資的経費	115,486,699	118,129,141	2,642,442	2.3	14.1	
内	補助事業	44,762,214	45,043,396	281,182	0.6	5.4
	単独事業	44,789,645	49,129,892	4,340,247	9.7	5.9
	直轄事業	14,445,360	13,392,269	▲ 1,053,091	▲ 7.3	1.6
	受託事業	2,470,450	1,780,345	▲ 690,105	▲ 27.9	0.2
訳	災害復旧費	9,019,030	8,783,239	▲ 235,791	▲ 2.6	1.0
3 その他経費	240,103,306	266,575,769	26,472,463	11.0	31.9	
合 計	805,086,700	836,552,275	31,465,575	3.9	100.0	

(12月補正、1月補正、2月補正予算含みベース)

(単位:千円、%)

区 分	R6.当初 + R5.12補(その4)※ + R5.2補(その2)※ C	R7.当初 + R6.12補(その2)※ + R6.1補※ + R6.2補(その1)※ D	比 較		R7.当初 + R6.12補(その2)※ + R6.1補※ + R6.2補(その1)※ 構成比	
			増減 D-C	増減率 (D-C)/C		
1 義務的経費	449,499,857	451,856,349	2,356,492	0.5	51.9	
内	人件費	213,185,911	213,731,695	545,784	0.3	24.5
	社会保障関係経費	124,663,048	131,447,224	6,784,176	5.4	15.1
	公債費	111,650,898	106,677,430	▲ 4,973,468	▲ 4.5	12.2
訳						
2 投資的経費	145,018,918	149,738,868	4,719,950	3.3	17.2	
内	補助事業	69,448,433	72,197,684	2,749,251	4.0	8.3
	単独事業	44,999,888	49,307,636	4,307,748	9.6	5.7
	直轄事業	19,081,117	17,669,964	▲ 1,411,153	▲ 7.4	2.0
	受託事業	2,470,450	1,780,345	▲ 690,105	▲ 27.9	0.2
訳	災害復旧費	9,019,030	8,783,239	▲ 235,791	▲ 2.6	1.0
3 その他経費	242,856,232	269,775,054	26,918,822	11.1	31.0	
合 計	837,375,007	871,370,271	33,995,264	4.1	100.0	

※構成比は四捨五入によるため合計に合わない場合があります。

※令和5年度12月補正(その4)は公共事業のみを、令和5年度2月補正(その2)は国の経済対策に係る事業のみを含んでいます。

※令和6年度12月補正(その2)は公共事業のみを、令和6年度1月補正及び2月補正(その1)は令和7年度当初予算と一体で実施される事業のみを含んでいます。

3. 一般会計 歳出予算の状況【部別】

(単位：千円、%)

区 分	令和6年度 当初 A	令和7年度 当初 B	比 較		令和7年度 当初 構成比
			増 減 B-A	増減率 (B-A)/A	
総 務 部	269,771,712	282,514,988	12,743,276	4.7	33.8
政 策 企 画 部	1,315,278	2,298,730	983,452	74.8	0.3
地 域 連 携 ・ 交 通 部	7,557,343	10,080,343	2,523,000	33.4	1.2
防 災 対 策 部	3,806,902	4,506,434	699,532	18.4	0.5
医 療 保 健 部	102,884,238	112,261,449	9,377,211	9.1	13.4
子 ど も ・ 福 祉 部	48,286,389	50,768,015	2,481,626	5.1	6.1
環 境 生 活 部	20,819,497	20,704,951	▲ 114,546	▲ 0.6	2.5
農 林 水 産 部	38,132,341	38,719,943	587,602	1.5	4.6
雇 用 経 済 部	13,327,766	12,795,429	▲ 532,337	▲ 4.0	1.5
観 光 部	2,459,837	2,302,908	▲ 156,929	▲ 6.4	0.3
県 土 整 備 部	90,696,195	91,447,614	751,419	0.8	10.9
出 納 局	983,313	900,264	▲ 83,049	▲ 8.4	0.1
人 事 委 員 会 事 務 局	122,737	136,272	13,535	11.0	0.0
議 会 事 務 局	1,589,610	1,531,917	▲ 57,693	▲ 3.6	0.2
監 査 委 員 事 務 局	218,860	218,044	▲ 816	▲ 0.4	0.0
警 察 本 部	45,545,074	43,904,834	▲ 1,640,240	▲ 3.6	5.2
教 育 委 員 会	157,569,608	161,460,140	3,890,532	2.5	19.3
合 計	805,086,700	836,552,275	31,465,575	3.9	100.0

(12月補正、1月補正、2月補正予算含みベース)

(単位：千円、%)

区 分	R6.当初 + R5.12補(その4)※ + R5.2補(その2)※ C	R7.当初 + R6.12補(その2)※ + R6.1補※ + R6.2補(その1)※ D	比 較		R7.当初 + R6.12補(その2)※ + R6.1補※ + R6.2補(その1)※ 構成比
			増 減 D-C	増減率 (D-C)/C	
総 務 部	269,771,712	282,514,988	12,743,276	4.7	32.4
政 策 企 画 部	1,315,278	2,301,092	985,814	75.0	0.3
地 域 連 携 ・ 交 通 部	7,745,520	10,176,429	2,430,909	31.4	1.2
防 災 対 策 部	3,806,902	4,629,067	822,165	21.6	0.5
医 療 保 健 部	103,568,457	113,426,121	9,857,664	9.5	13.0
子 ど も ・ 福 祉 部	48,494,638	51,212,300	2,717,662	5.6	5.9
環 境 生 活 部	20,839,297	21,307,178	467,881	2.2	2.4
農 林 水 産 部	44,474,713	46,004,823	1,530,110	3.4	5.3
雇 用 経 済 部	13,535,746	13,134,208	▲ 401,538	▲ 3.0	1.5
観 光 部	2,459,837	2,404,621	▲ 55,216	▲ 2.2	0.3
県 土 整 備 部	113,644,644	115,529,973	1,885,329	1.7	13.3
出 納 局	983,313	900,264	▲ 83,049	▲ 8.4	0.1
人 事 委 員 会 事 務 局	122,737	136,272	13,535	11.0	0.0
議 会 事 務 局	1,589,610	1,531,917	▲ 57,693	▲ 3.6	0.2
監 査 委 員 事 務 局	218,860	218,044	▲ 816	▲ 0.4	0.0
警 察 本 部	45,545,074	44,059,965	▲ 1,485,109	▲ 3.3	5.1
教 育 委 員 会	159,258,669	161,883,009	2,624,340	1.6	18.6
合 計	837,375,007	871,370,271	33,995,264	4.1	100.0

※ 令和5年度12月補正(その4)は公共事業のみを、令和5年度2月補正(その2)は国の経済対策に係る事業のみを含んでいます。

※ 令和6年度12月補正(その2)は公共事業のみを、令和6年度1月補正及び2月補正(その1)は令和7年度当初予算と一体で実施される事業のみを含んでいます。

※ 構成比は、四捨五入によるため合計に合わない場合があります。

3. 一般会計 歳出予算の状況 【款別】

(単位：千円、%)

区 分	令和6年度 当初 A	令和7年度 当初 B	比 較		令和7年度 当初 構成比
			増 減 B-A	増減率 (B-A)/A	
議 会 費	1,589,610	1,531,917	▲ 57,693	▲ 3.6	0.2
総 務 費	43,742,159	52,454,041	8,711,882	19.9	6.3
民 生 費	124,535,720	131,540,633	7,004,913	5.6	15.7
衛 生 費	30,594,366	35,713,443	5,119,077	16.7	4.3
労 働 費	1,646,606	1,719,090	72,484	4.4	0.2
農 林 水 産 業 費	35,752,892	36,317,893	565,001	1.6	4.3
商 工 費	12,456,924	11,695,073	▲ 761,851	▲ 6.1	1.4
土 木 費	85,740,687	86,830,599	1,089,912	1.3	10.4
警 察 費	45,545,074	43,904,834	▲ 1,640,240	▲ 3.6	5.2
教 育 費	167,835,565	171,965,253	4,129,688	2.5	20.6
災 害 復 旧 費	9,019,030	8,783,239	▲ 235,791	▲ 2.6	1.0
公 債 費	111,311,317	106,359,339	▲ 4,951,978	▲ 4.4	12.7
諸 支 出 金	135,266,750	147,686,921	12,420,171	9.2	17.7
予 備 費	50,000	50,000	0	0.0	0.0
合 計	805,086,700	836,552,275	31,465,575	3.9	100.0

(12月補正、1月補正、2月補正予算含みベース)

(単位：千円、%)

区 分	R6.当初 + R5.12補(その4)※ + R5.2補(その2)※ C	R7.当初 + R6.12補(その2)※ + R6.1補※ + R6.2補(その1)※ D	比 較		R7.当初 + R6.12補(その2)※ + R6.1補※ + R6.2補(その1)※ 構成比
			増 減 D-C	増減率 (D-C)/C	
議 会 費	1,589,610	1,531,917	▲ 57,693	▲ 3.6	0.2
総 務 費	43,930,336	52,704,122	8,773,786	20.0	6.0
民 生 費	125,386,510	133,124,090	7,737,580	6.2	15.3
衛 生 費	30,614,166	36,310,846	5,696,680	18.6	4.2
労 働 費	1,646,606	1,719,090	72,484	4.4	0.2
農 林 水 産 業 費	42,095,264	43,602,773	1,507,509	3.6	5.0
商 工 費	12,664,904	12,135,565	▲ 529,339	▲ 4.2	1.4
土 木 費	108,689,136	110,912,958	2,223,822	2.0	12.7
警 察 費	45,545,074	44,059,965	▲ 1,485,109	▲ 3.3	5.1
教 育 費	169,566,304	172,389,446	2,823,142	1.7	19.8
災 害 復 旧 費	9,019,030	8,783,239	▲ 235,791	▲ 2.6	1.0
公 債 費	111,311,317	106,359,339	▲ 4,951,978	▲ 4.4	12.2
諸 支 出 金	135,266,750	147,686,921	12,420,171	9.2	16.9
予 備 費	50,000	50,000	0	0.0	0.0
合 計	837,375,007	871,370,271	33,995,264	4.1	100.0

※ 令和5年度12月補正(その4)は公共事業のみを、令和5年度2月補正(その2)は国の経済対策に係る事業のみを含んでいます。

※ 令和6年度12月補正(その2)は公共事業のみを、令和6年度1月補正及び2月補正(その1)は令和7年度当初予算と一体で実施される事業のみを含んでいます。

※ 構成比は、四捨五入によるため合計に合わない場合があります。

4. 公共事業等の状況

1 国補公共事業(流域下水道事業会計を含む)

※6年度当初上段()は令和5年度12月補正(その4)予算
及び令和5年度2月補正(その2)予算含み

※7年度当初上段()は令和6年度12月補正(その2)予算
及び令和6年度2月補正(その1)予算含み

(単位:千円、%)

区 分		6年度当初	7年度当初	増 減	対前年度比
県 土 整 備 部	道路事業	(25,681,526) 15,056,630	(25,498,888) 15,141,194	(▲ 182,638) 84,564	(99.3) 100.6
	河川事業	(6,563,967) 2,900,887	(7,123,151) 2,861,802	(559,184) ▲ 39,085	(108.5) 98.7
	砂防事業	(4,799,266) 2,849,516	(5,702,225) 2,856,225	(902,959) 6,709	(118.8) 100.2
	海岸事業	(2,559,900) 1,294,900	(2,753,100) 1,547,100	(193,200) 252,200	(107.5) 119.5
	港湾事業	(1,632,550) 1,111,750	(1,695,906) 968,806	(63,356) ▲ 142,944	(103.9) 87.1
	都市計画事業	(1,951,316) 1,662,150	(1,734,820) 1,358,622	(▲ 216,496) ▲ 303,528	(88.9) 81.7
	流域下水道事業	(20,000) 20,000	(0) 0	(▲ 20,000) ▲ 20,000	(0.0) 0.0
	住宅事業	(272,996) 272,996	(272,996) 272,996	(0) 0	(100.0) 100.0
	一般会計 部計	(43,481,521) 25,168,829	(44,781,086) 25,006,745	(1,299,565) ▲ 162,084	(103.0) 99.4
	流域下水道事業	(8,087,381) 6,836,381	(8,850,072) 8,577,597	(762,691) 1,741,216	(109.4) 125.5
	部 計	(51,568,902) 32,005,210	(53,631,158) 33,584,342	(2,062,256) 1,579,132	(104.0) 104.9
	農 林 水 産 部	農業農村事業	(10,958,308) 6,281,353	(12,823,551) 7,506,927	(1,865,243) 1,225,574
漁業漁村事業		(3,177,595) 2,127,095	(3,321,567) 2,047,239	(143,972) ▲ 79,856	(104.5) 96.2
森林林業事業		(3,017,268) 2,765,268	(3,120,239) 2,845,239	(102,971) 79,971	(103.4) 102.9
部 計		(17,153,171) 11,173,716	(19,265,357) 12,399,405	(2,112,186) 1,225,689	(112.3) 111.0
合 計		(68,722,073) 43,178,926	(72,896,515) 45,983,747	(4,174,442) 2,804,821	(106.1) 106.5
うち、一般会計合計		(60,634,692) 36,342,545	(64,046,443) 37,406,150	(3,411,751) 1,063,605	(105.6) 102.9

2 県単公共事業(流域下水道事業会計を含む)

(単位:千円、%)

区 分		6年度当初	7年度当初	増 減	対前年度比
県 土 整 備 部	建設	(8,457,112) 8,457,112	(9,195,989) 9,195,989	(738,877) 738,877	(108.7) 108.7
	道路事業	(3,770,744) 3,770,744	(3,893,244) 3,893,244	(122,500) 122,500	(103.2) 103.2
	河川事業	(2,936,032) 2,936,032	(3,140,527) 3,140,527	(204,495) 204,495	(107.0) 107.0
	砂防事業	(383,000) 383,000	(401,500) 401,500	(18,500) 18,500	(104.8) 104.8
	海岸事業	(843,000) 843,000	(835,000) 835,000	(▲ 8,000) ▲ 8,000	(99.1) 99.1
	港湾事業	(306,000) 306,000	(368,500) 368,500	(62,500) 62,500	(120.4) 120.4
	災害関連事業	(65,000) 65,000	(38,470) 38,470	(▲ 26,530) ▲ 26,530	(59.2) 59.2
	都市計画事業	(153,336) 153,336	(518,748) 518,748	(365,412) 365,412	(338.3) 338.3
	維持	(17,127,917) 17,127,917	(18,149,506) 18,149,506	(1,021,589) 1,021,589	(106.0) 106.0
	調査	(86,253) 86,253	(116,572) 116,572	(30,319) 30,319	(135.2) 135.2
	その他	(276,882) 276,882	(278,045) 278,045	(1,163) 1,163	(100.4) 100.4
	一般会計 部計	(25,948,164) 25,948,164	(27,740,112) 27,740,112	(1,791,948) 1,791,948	(106.9) 106.9
	流域下水道事業	(293,003) 293,003	(318,947) 318,947	(25,944) 25,944	(108.9) 108.9
	部 計	(26,241,167) 26,241,167	(28,059,059) 28,059,059	(1,817,892) 1,817,892	(106.9) 106.9
	農 林 水 産 部	農業農村事業	(1,185,059) 1,185,059	(778,480) 778,480	(▲ 406,579) ▲ 406,579
漁業漁村事業		(200,538) 200,538	(289,100) 289,100	(88,562) 88,562	(144.2) 144.2
森林林業事業		(2,058,933) 2,058,933	(2,106,226) 2,106,226	(47,293) 47,293	(102.3) 102.3
部 計		(3,444,530) 3,444,530	(3,173,806) 3,173,806	(▲ 270,724) ▲ 270,724	(92.1) 92.1
合 計		(29,685,697) 29,685,697	(31,232,865) 31,232,865	(1,547,168) 1,547,168	(105.2) 105.2
うち、一般会計合計		(29,392,694) 29,392,694	(30,913,918) 30,913,918	(1,521,224) 1,521,224	(105.2) 105.2

3 直轄事業

(単位:千円、%)

区 分		6年度当初	7年度当初	増 減	対前年度比
県 土 整 備 部	道路事業	(14,235,418) 11,421,918	(13,488,342) 10,961,506	(▲ 747,076) ▲ 460,412	(94.8) 96.0
	河川事業	(3,966,129) 2,215,806	(3,782,609) 2,057,510	(▲ 183,520) ▲ 158,296	(95.4) 92.9
	砂防事業	(164,247) 100,667	(126,427) 100,667	(▲ 37,820) 0	(77.0) 100.0
	港湾事業	(33,893) 33,893	(0) 0	(▲ 33,893) ▲ 33,893	(0.0) 0.0
	公園事業	(21,412) 13,058	(13,058) 13,058	(▲ 8,354) 0	(61.0) 100.0
	部 計	(18,421,099) 13,785,342	(17,410,436) 13,132,741	(▲ 1,010,663) ▲ 652,601	(94.5) 95.3
	農 林 水 産 部	土地改良事業	(660,018) 660,018	(259,528) 259,528	(▲ 400,490) ▲ 400,490
部 計	(660,018) 660,018	(259,528) 259,528	(▲ 400,490) ▲ 400,490	(39.3) 39.3	
合 計		(19,081,117) 14,445,360	(17,669,964) 13,392,269	(▲ 1,411,153) ▲ 1,053,091	(92.6) 92.7

4 災害復旧事業

(単位:千円、%)

区 分	6年度当初	7年度当初	増 減	対前年度比
県土整備部	(6,639,581) 6,639,581	(6,301,189) 6,301,189	(▲ 338,392) ▲ 338,392	(94.9) 94.9
農林水産部	(2,379,449) 2,379,449	(2,402,050) 2,402,050	(22,601) 22,601	(100.9) 100.9
合 計	(9,019,030) 9,019,030	(8,703,239) 8,703,239	(▲ 315,791) ▲ 315,791	(96.5) 96.5

5 受託公共事業

(単位:千円、%)

区 分		6年度当初	7年度当初	増 減	対前年度比
県土整備部	一般会計	(2,226,423) 2,226,423	(1,606,597) 1,606,597	(▲ 619,826) ▲ 619,826	(72.2) 72.2
	流域下水道事業	(0) 0	(0) 0	(0) 0	- -
	部 計	(2,226,423) 2,226,423	(1,606,597) 1,606,597	(▲ 619,826) ▲ 619,826	(72.2) 72.2
農林水産部		(187,600) 187,600	(145,200) 145,200	(▲ 42,400) ▲ 42,400	(77.4) 77.4
合 計		(2,414,023) 2,414,023	(1,751,797) 1,751,797	(▲ 662,226) ▲ 662,226	(72.6) 72.6
うち、一般会計		2,414,023 2,414,023	1,751,797 1,751,797	(▲ 662,226) ▲ 662,226	72.6 72.6

1～5 合 計

(単位:千円、%)

区 分	6年度当初	7年度当初	増 減	対前年度比
県土整備部	(105,097,172) 80,897,723	(107,008,439) 82,683,928	(1,911,267) 1,786,205	(101.8) 102.2
うち、一般会計	(96,716,788) 73,768,339	(97,839,420) 73,787,384	(1,122,632) 19,045	(101.2) 100.0
農林水産部	(23,824,768) 17,845,313	(25,245,941) 18,379,989	(1,421,173) 534,676	(106.0) 103.0
合 計	(128,921,940) 98,743,036	(132,254,380) 101,063,917	(3,332,440) 2,320,881	(102.6) 102.4
うち、一般会計	(120,541,556) 91,613,652	(123,085,361) 92,167,373	(2,543,805) 553,721	(102.1) 100.6

(災害復旧事業・受託公共事業を除く)

(単位:千円、%)

区 分	6年度当初	7年度当初	増 減	対前年度比
県土整備部	(96,231,168) 72,031,719	(99,100,653) 74,776,142	(2,869,485) 2,744,423	(103.0) 103.8
うち、一般会計	(87,850,784) 64,902,335	(89,931,634) 65,879,598	(2,080,850) 977,263	(102.4) 101.5
農林水産部	(21,257,719) 15,278,264	(22,698,691) 15,832,739	(1,440,972) 554,475	(106.8) 103.6
合 計	(117,488,887) 87,309,983	(121,799,344) 90,608,881	(4,310,457) 3,298,898	(103.7) 103.8
うち、一般会計	(109,108,503) 80,180,599	(112,630,325) 81,712,337	(3,521,822) 1,531,738	(103.2) 101.9

5. 新規事業一覧表

各記号の意味は、以下のとおりです。

「※」 …一部新規を含むもの（事業費は新規分のみを計上）

「☆」 …市町予算と関係があると考えられるもの

「◆」 …令和7年度重点施策枠のもの（継続分は除く）

「□」 …県民提案をふまえたもの

※事業費上段の（ ）は令和6年度2月補正予算（その1）含みベース

（単位：千円）

番号	部局名	施策	細事業名称	事業概要（新規・一部新規の事業部分のみ）	事業費	一部新規	市町関連	重点施策	県民提案
1	総務部	10-2	市町DX促進事業費	単独ではデジタル人材の育成が困難な市町に対して、職員を直接的に伴走支援するデジタル専門人材を派遣し、市町の実情に合わせた課題解決やデジタル人材の育成に取り組みます。	15,960	※	☆	◆	
2	総務部	行政運営2	人事管理事務費	県職員の人材確保において、戦略的かつ効果的に経験者採用を進めていくため、「誰に」「どのような情報を」「どのように」プロモーションしていくべきかなどを示す全体方針を策定します。 また、カスタマーハラスメント対策として、本庁舎及び総合庁舎において、電話録音するための機能を整備します。	54,445	※		◆	
総務部 計					70,405				
3	政策企画部	行政運営1	三重県誕生150周年記念事業費	令和8年4月に三重県誕生150周年を迎えるにあたり、記念事業の実施に向けた準備を進めるとともに、県内外の機運醸成を図ります。	23,705				
4	政策企画部	行政運営1	人口減少対策費	ジェンダーギャップ解消に向けた戦略の策定、「三重県人口ビジョン」の改定及び非正規雇用に関する調査・分析に取り組みます。	(18,522) 16,160	※		◆	
5	政策企画部	行政運営1	未来につなぐ平和発信事業費	令和7年に戦後80年の節目を迎えることから、関係部局と連携し、記念行事の開催や平和啓発に係る県ホームページの改良などにより、若い世代をはじめとする多くの県民の皆さんに、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えていく機会を設けます。	6,000	※		◆	
6	政策企画部	行政運営1	三重で暮らす・働く魅力の発信事業費	移住や就職への関心がまだ高くない層に対して三重で暮らす・働く魅力を発信するため、県内の高校生や県外大学に通う学生等の若者をターゲットにしたショート動画等を素材として、映画館でのCMや電車車両内のデジタルサイネージ等のさまざまな媒体を活用して魅力を発信します。	10,119			◆	□
政策企画部 計					(58,346) 55,984				
7	地域連携・交通部	9-1	地域活性化支援事業費	令和7年度末で「三重県過疎地域持続的発展方針」および「三重県過疎地域持続的発展計画」の実施期間が終了することから、改定作業を行います。	2,910	※			
8	地域連携・交通部	9-2	移住促進事業費	移住希望者のニーズや特性に応じたモデルにより、それぞれにアプローチする様々なプロモーションを実施するとともに、県独自の移住フェアを名古屋、大阪に加え、新たに東京でも開催し、本県のさらなる認知度向上を図ります。	55,293	※		◆	
9	地域連携・交通部	9-2	移住者を受け入れる態勢の充実支援事業費	移住希望者の不安軽減や県内定着を図るため、市町などが実施するお試し住宅の整備や移住体験ツアーでの利用への支援を行い、移住者の受入態勢充実に取り組みます。	12,250	※	☆		
10	地域連携・交通部	9-3	南部の地域づくり連携推進事業費	南部地域振興プランのめざす姿の実現に向けて、第一次産業の担い手確保について関係部局と連携して取り組みます。	9,500	※			
11	地域連携・交通部	9-4	熊野古道活用促進事業費	市町が実施する熊野古道伊勢路の保全活動に係る事業費の一部を補助し、伊勢路の維持管理の取組を支援します。	4,000	※	☆		
12	地域連携・交通部	9-4	Easy Access to 東紀州！プロジェクト推進事業費	熊野古道伊勢路各峠等への二次交通によるアクセス確保に向けて、タクシー事業者を活用した調査・実証事業を実施します。	7,502	※			

番号	部局名	施策	細事業名称	事業概要(新規・一部新規の事業部分のみ)	事業費	一部新規	市町関連	重点施策	県民提案
13	地域連携・交通部	11-2	地域における移動手段の確保に向けた総合対策事業費	地域における交通空白の解消に向けて、国(中部運輸局)とともに市町を訪問して交通課題の解決策を検討する場の開催や、交通事業者も交えた実務者レベルでの個別取組の検討など、市町における効果的な施策立案の伴走型支援を行います。 また、運転士不足に対応するため、誰もが働きやすい職場環境づくりへの支援など交通事業者の運転士確保の取組を支援します。	(14,700) 4,700	※		◆	
14	地域連携・交通部	11-2	鉄道活性化促進事業費	JR関西本線(亀山~加茂間)の活性化のため、「関西本線活性化利用促進三重県会議」において、観光列車の実証運行をはじめとする関西方面からの誘客を通じた利用促進に、他府県とも連携して取り組みます。	17,942	※		◆	
15	地域連携・交通部	11-4	国土調査事業費	市町が地籍調査を進めるうえで必要な知識を習得・蓄積するため、地籍調査に関する豊富な知識を有する実務経験者などを活用した技術的支援を行う地域連絡会議などを実施します。	325	※			
16	地域連携・交通部	16-3	地域スポーツイベント開催事業費	令和8年4月の三重県誕生150周年に向けた機運醸成を図りつつ、市町等と連携して「第19回美し国三重市町対抗駅伝」を開催します。	21,069	※			
17	地域連携・交通部	行政委員会	知事選挙費	令和7年9月12日任期満了に伴う三重県知事選挙の執行に係る事務を行うとともに、必要な経費を市町等に対し交付します。	894,625		☆		
18	地域連携・交通部	行政委員会	参議院議員選挙費	令和7年7月28日任期満了に伴う参議院議員通常選挙の執行に係る事務を行うとともに、必要な経費を市町等に対し交付します。	920,958		☆		
19	地域連携・交通部	行政委員会	県議会議員補欠選挙費	令和7年9月12日任期満了に伴う三重県知事選挙に便乗して執行する県議会議員補欠選挙に係る事務を行うとともに、必要な経費を市町等に対し交付します。	75,725		☆		
				地域連携・交通部 計	(2,036,799) 2,026,799				
20	防災対策部	1-1	孤立地域対策強化事業費	大規模災害時に想定される孤立地域の発生に備えるため、孤立地域における非常用電源の配備状況などを調査します。また、市町と連携してドローンによる災害時の物資輸送の実証調査を実施し、市町が活用できるガイドラインを作成することで、孤立地域への確実な物資輸送の促進を図ります。	(11,000) 8,000			◆	
21	防災対策部	1-1	南海トラフ地震対策強化モデル事業費	南海トラフ地震対策を強化していくため、市町と連携して3つのモデル事業を実施します。1つ目は、令和6年度に改定を目指す「三重県避難所運営マニュアル策定指針」に盛り込むスフィア基準をふまえた避難所環境改善やペット避難などの方針について、市町が実践するうえでの課題に対し専門家を派遣し課題解決を行うとともに、市町に水平展開を図ります。2つ目は、被災者個々の状況に応じた支援を行う「災害ケースマネジメント」の導入を県内市町に促進するため、県としての指針を策定します。3つ目は、救助機関の活動拠点、仮設住宅建設用地、災害廃棄物仮置場、資材置き場等、災害時に必要となる土地利用の整理を行い、モデル市町において災害時土地利用計画を作成するとともに、得られたノウハウを活用し県内全域に展開します。	12,104				
22	防災対策部	1-1	災害対策管理費	本県の空中消火実施体制の強化を図るため、自立式消火バケットの購入と合わせて、自衛隊と新たに空中消火に関する委託協定を締結します。	5,000	※			
23	防災対策部	1-1	消防行政指導事業費	大規模災害時の消防団の対応力の向上のため、新たに消防団員のスキルアップの支援や消防団のDXの推進に取り組みます。	5,130	※	☆		
24	防災対策部	1-2	「みえ防災・減災センター」事業費	能登半島地震や奥能登豪雨災害の支援活動を通じて得た気づきをふまえ、新たにみえ防災・減災センターに「みえ防災人材アカデミー(仮称)」を立ち上げ、県・大学・市町が連携して災害対応のマネジメント技術を身に付けた県・市町職員を育成します。	5,000	※		◆	
25	防災対策部	1-2	地域減災対策推進事業費	能登半島地震や奥能登豪雨災害をふまえ、避難所の環境改善や孤立地域対策に取り組む市町の計画を強力に支援するため、既存の補助金制度を見直し、新たに「いのちを守る防災・減災総合補助金(仮称)」を創設します。	120,000	※	☆	◆	
				防災対策部 計	(158,234) 155,234				

番号	部局名	施策	細事業名称	事業概要（新規・一部新規の事業部分のみ）	事業費	一部新規	市町関連	重点施策	県民提案
26	医療保健部	1-1	災害医療体制強化推進事業費	能登半島地震における石川県での医療搬送体制や南海トラフ地震における三重県の被害想定をふまえて、三重県独自の医療搬送体制を検討します。また、県内外の歯科診療所が被災した場合の診療体制を確保するため、歯科診療車両の配備を支援します。さらに、保健医療活動に係る受援体制の充実を図るため、災害時の保健師活動マニュアル等の改定や人材育成研修を行います。	52,090	※		◆	
27	医療保健部	2-1	薬剤師確保・資質向上事業費	県内の病院に勤務する薬剤師の確保及び育成を図るため、在学中に賞与を受けた奨学金の一部に対する返還資金の助成を行います。また、病院薬剤師が不足する地域等への薬剤師派遣の支援に取り組みます。	5,500	※			
28	医療保健部	2-1	医師確保対策事業費	三重大学医学部に新たな診療領域である移行期医療の寄附講座を開設し、県外からの医師確保を推進します。また、勤務医の労働時間短縮に向けた体制整備や職場環境整備のための取組を支援します。さらに、医師派遣を行う医療機関の運営等や医師少数区域経路認定医師を支援します。	1,327,057	※		◆	
29	医療保健部	2-1	ナースセンター事業費	看護補助者の確保・定着を図るため、看護補助者の仕事紹介に関する周知媒体を作成・配布するとともに、求職者に対して看護補助者の仕事に関する説明会を実施するほか、看護補助者の募集を行う施設への訪問や無料職業紹介等を行います。	4,675	※			
30	医療保健部	2-1	看護職員確保対策事業費	看護学生や幅広い年代の未就業の方々に対して、三重県で看護職員として働く魅力を積極的に発信するため、インターネットを活用した情報発信に取り組みます。また、インドネシアの看護系大学と三重県との連携を進めるため、県内看護系大学とともに現地大学を訪問し、視察や意見交換を行います。	5,159	※		◆	
31	医療保健部	2-1	障がい者医療費補助金	障がい者医療費の現物給付に係る市町補助について、対象年齢を拡大します。	1,648	※	☆		
32	医療保健部	2-1	子ども医療費補助金	子ども医療費の現物給付に係る市町補助について、対象年齢を拡大します。	192,923	※	☆		
33	医療保健部	2-1	一人親家庭等医療費補助金	一人親家庭等医療費の現物給付に係る市町補助について、対象年齢を拡大します。	16,800	※	☆		
34	医療保健部	2-1	小児・周産期医療体制強化推進事業費	地域において安心して出産できる体制を確保するため、分娩取扱施設が少ない地域において、施設・設備を整備する分娩取扱施設や産科医の受入支援に取り組み市町を支援します。	58,628	※	☆		
35	医療保健部	2-2	防疫対策事業費	新興感染症等の発生に備え、令和5年度に策定した健康危機対応計画や国からの通知に基づき、必要な検査体制の確保等に取り組みます。	18,202	※			
36	医療保健部	2-2	感染症対策基盤整備事業費	新興感染症の発生時等に適切に対応する体制を整備するため、関係機関との連携体制の構築、県などの行政機関、医療機関や施設等における人材育成に取り組みます。	3,264	※			
37	医療保健部	2-3	外国人介護人材確保対策事業費	県内の介護施設等で就労を希望する外国人介護人材と受入希望施設等とのマッチングを支援するとともに、外国人介護職員とのコミュニケーション支援や、介護福祉士の資格取得のための学習支援等の取組を支援します。また、外国人介護人材の有望な送出国との関係構築に向けて、県内での就労をPRする現地セミナーの開催等に取り組みます。	45,471	※			
38	医療保健部	2-3	介護保険サービス事業者・施設指定事業	介護職員等処遇改善加算を取得し、業務効率化や職場環境改善に取り組む介護保険事業者・施設等を支援します。また、人材確保体制の構築や経営改善に取り組む訪問介護事業所等を支援します。	(1,113,884) 30,495	※			
39	医療保健部	2-3	三重県介護従事者確保事業費補助金	県が選定するモデル地域において、居宅介護支援事業所と居宅サービス事業所の間でのケアプランデータ連携システムの導入の促進を図ります。	40,000	※			

番号	部 局 名	施策	細 事 業 名 称	事業概要（新規・一部新規の事業部分のみ）	事 業 費	一 部 新 規	市 町 関 連	重 点 施 策	県 民 提 案
40	医療保健部	2-3	認知症地域生活安心サポート事業費	新たに創設する認知症希望大使による認知症本人の思いを発信する活動を支援するとともに、認知症本人やその家族の方に対するニーズ等実態調査を行い、認知症施策推進計画を策定します。	(5,000) ₀	※			
41	医療保健部	2-4	三重とこわか健康推進事業費	県民が無理なく健康的な行動をとることができる環境を整備するため、産学官等が連携して食環境づくりに取り組む会議体を立ち上げ、セミナーや交流会の開催などにより、参画事業者の取組を支援します。	6,324	※			
42	医療保健部	3-4	生活衛生関係営業指導費	物価統制令により価格転嫁が容易でない普通公衆浴場に対し、施設・設備整備に係る費用を補助します。	(25,500) ₀	※			
医療保健部 計					(2,922,125) 1,808,236				
43	子ども・福祉部	13-1	民生委員一斉改選事務費	3年に1度の民生委員・児童委員の一斉改選に伴い、市町の推薦に係る経費への補助や新任委員への研修等を行います。	4,491				
44	子ども・福祉部	13-1	包括的支援体制整備支援事業費	包括的な支援体制の整備が進んでいない市町に対して、助言を行うなどの支援を行います。また、市町の包括的な支援体制において、課題を抱える方々を支援し、社会参加の実現につなげていくために、社会的処方考え方を取り入れた研修を実施します。	2,577	※			
45	子ども・福祉部	13-1	援護事業費補助金	戦後80年をとらえ、戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に継承するために開催されるイベントに係る経費に対する補助を行います。	200	※		◆	
46	子ども・福祉部	13-1	戦没者慰霊事業費	沖縄「三重の塔」の環境整備を経て、戦後80年を記念した事業を実施します。	568	※		◆	
47	子ども・福祉部	13-1	ひきこもり対策推進事業費	当事者やその家族に寄り添った支援の充実に向けて、「ひきこもりピアサポートセンター」を開設するとともに、居場所に係る広域的な支援体制づくりのための実態調査の実施や、地域巡回型家族交流会の開催に取り組みます。	6,245	※		◆	
48	子ども・福祉部	13-1	更生保護事業費	地域社会における再犯防止の取組が円滑に実施できるよう、市町職員等を対象とした研修会及び関係機関を交えた会議を開催するとともに、犯罪に至った者が地域社会において安定した生活が送れるよう、就労・職場定着のための支援に取り組みます。	675	※			
49	子ども・福祉部	13-2	人材育成支援事業費	令和6年度の報酬改定において高次脳機能障害に関する研修受講を要件とする加算が創設されたため、新たに高次脳機能障害支援養成研修を実施します。	1,490	※			
50	子ども・福祉部	15-1	子どもの育ちの推進事業費	令和6年度に検討を進めている「三重県子ども条例」の改正内容に基づき、子どもの権利に関する啓発や子どもの意見表明の推進等に取り組みます。	21,908	※		◆	
51	子ども・福祉部	15-1	子どもの居場所支援事業費	子どもの居場所運営団体や市町等を対象とした中高生世代の居場所づくりの必要性についてのセミナーを開催するとともに、学校に代わる居場所づくり支援として、フリースクール等民間施設運営団体への運営補助を行います。	15,132				
52	子ども・福祉部	15-1	ヤングケアラー支援事業費	高校生世代から30歳までのヤングケアラーの実態を把握するためのアンケート調査を行います。また、市町が学校と連携しヤングケアラーに気づくツールとしてのアセスメントシート活用促進を通じた連携強化に取り組みます。	4,346	※		◆	

番号	部局名	施策	細事業名称	事業概要（新規・一部新規の事業部分のみ）	事業費	一部新規	市町関連	重点施策	県民提案
53	子ども・福祉部	15-2	保育対策総合支援事業費	保育所等の勤務環境を改善し、不適切保育の発生防止や保育士等の離職防止を図るため、私立保育所等に対してアウトリーチの相談支援を実施します。また、保育実習の質の向上を図るため、保育実習生指導担当者向けの研修を実施します。加えて、潜在保育士への保育所等への就職を促進するため、三重県保育士・保育所支援センターにおいて、潜在保育士等の同センターの登録を促進し、就職につなげるなど人材バンク機能の強化を図ります。	12,874	※		◆	
54	子ども・福祉部	15-3	児童虐待法的対応推進事業費	警察との連携強化のため、合同研修用の教材の共同作成、児童相談システムの改修を行います。また、一時保護の司法審査導入を見据え、弁護士等を増員し、法的対応力を強化します。加えて、令和5年度の死亡事例を踏まえ、児童相談所職員の専門性強化に向けて令和6年度に策定中の人材育成計画に基づく体系的な研修を実施します。	72,623	※		◆	
55	子ども・福祉部	15-3	児童一時保護事業費	一時保護施設の設備及び運営に関する基準（令和6年4月施行）に基づき、第三者機関による評価、一時保護児童の登校支援の実施や、苦情解決第三者委員会の設置を行います。	4,138	※			
56	子ども・福祉部	15-3	児童相談所管理運営費	職員の業務効率向上のため、北勢児童相談所に自動音声対応電話を導入します。老朽化の著しい北勢児童相談所一時保護所及び本館の整備に向けて、令和6年度に策定する予定の整備基本計画に基づき、調査・設計等を行います。	65,141	※			
57	子ども・福祉部	15-3	市町児童相談体制支援推進事業費	市町において設置することが努力義務となったこども家庭センターの体制をさらに強化するため、組織の構築やマネジメント力の向上につながる研修等を実施し、設置促進や専門性の強化を図ります。	114	※			
58	子ども・福祉部	15-3	家族再生・自立支援事業費	親子関係再構築支援事業を円滑に実施するため、親子関係再構築支援員を配置し、県内の親子関係再構築支援にかかる人材の育成をはじめ、親子関係再構築の進捗管理、保護者支援プログラム実施にかかる調整を行います。	16,072	※			
59	子ども・福祉部	15-4	みえの出逢い支援事業費	結婚を希望する方が自身で相手を探することができるマッチングシステムを導入し、利用者の増加やA1とビッグデータの活用によりマッチングを促進します。	21,659	※		◆	
60	子ども・福祉部	15-4	思春期ライフプラン教育事業費	プレコンセプションケアに関するセミナーと、健康な体づくりに向けた検査及び医師からのアドバイスを一体とした事業の実施に向けた取組を検討します。	568	※			
61	子ども・福祉部	15-4	妊婦のための支援給付事業費	安心して出産・子育てができる環境整備のため、市町が実施する伴走型相談支援と一体で実施される経済的支援に係る事務費の一部補助します。	32,990		☆		
62	子ども・福祉部	15-4	不妊相談・治療支援事業費	不妊や不育症に悩む方の先進医療に係る治療の費用に対する助成について、助成の対象となる治療を拡大することで、さらなる支援の充実を図ります。	11,013	※	☆		
63	子ども・福祉部	15-4	先天性代謝異常等検査費	放置すると知的障害等の症状をきたしたり合併症により死に至る場合もある疾病を早期に見出すため、現在実施している新生児を対象とした20疾患の血液検査に加えて、新たな2疾患を対象とした国の実証事業へ参画します。	49,590	※			
64	子ども・福祉部	15-4	出産・育児まるとサポートみえ推進事業費	妊婦の経済的負担の軽減を図るため、遠方の分娩取扱施設で出産する必要がある妊婦に対して、移動に係る交通費および宿泊費の助成を行います。また、市町における多胎児家庭への支援事業の均てん化を図り、切れ目のない支援につなげるため、新たに広域での多胎教室や多胎児家庭の交流会を開催します。	3,035	※	☆		
子ども・福祉部 計					347,449				

番号	部局名	施策	細事業名称	事業概要（新規・一部新規の事業部分のみ）	事業費	一部新規	市町関連	重点施策	県民提案
65	環境生活部	16-1	文化観光推進事業費	斎宮を核とした文化観光を推進し、史跡斎宮跡を周遊していただけるよう、斎宮歴史博物館の展示リニューアルに向けた展示設計や、周遊に必要となる整備計画策定のための発掘調査を行います。	27,266	※		◆	
66	環境生活部	16-1	図書館管理運営費	県内全域で、いつでもどこでも読書ができる環境を整備するため、電子書籍の導入に取り組みます。	10,000	※		◆	
67	環境生活部	16-1	総合博物館展示等事業費	化石をテーマにした企画展を開催するとともに、資料の収集・保存に関する調査を実施します。	30,502	※			
68	環境生活部	16-1	美術館展示等事業費	障がいのある方、不登校の児童生徒、孤立の課題を抱えた方など、誰もが美術作品を楽しく鑑賞できるプログラムの開発に取り組みます。	5,571	※		◆	
69	環境生活部	16-1	斎宮歴史博物館展示・普及事業費	三重県誕生150周年記念として、国史跡斎宮跡発掘55周年のパネル展示や基調講演を開催します。	1,000	※		◆	
70	環境生活部	12-1	人権センター管理運営費	県人権センター常設展示室改修の基本方針に基づき、具体的な展示内容を決定するとともに、見学者に人権問題についてわかりやすく学んでもらうため、教材作成に取り組みます。	3,300	※		◆	
71	環境生活部	12-1	人権啓発事業費	SNS利用者の多い若年層をはじめ、広く県民の皆さんが自ら人権について考え、主体的に行動していただくきっかけづくりとなるよう、啓発動画作品を募集し、SNS等に掲載することで、効果的な啓発に取り組みます。	2,498	※		◆	
72	環境生活部	12-2	ジェンダーギャップ解消！！HAPPY☆CYCLE事業費	ジェンダーギャップ解消に向け、誰もが家庭でも仕事でも活躍でき、性別役割分担にとらわれない働き方を推進するため、県内企業等と連携し、企業トップ・リーダー層の意識啓発のための企業訪問・ワークショップや本気宣言、働く女性のロールモデルとの交流会、先進企業や活躍する女性等の情報を一元的に発信するためのポータルサイトの構築を行います。	13,123	※		◆	
73	環境生活部	1-2	災害ボランティア支援等事業費	市町における災害ボランティア受入れ体制強化のための研修会の実施や、みえ災害ボランティア支援センター（MVSC）の体制強化のため、全国域で活動する災害関連のNPO等との連携強化等に取り組みます。	1,820	※		◆	
74	環境生活部	12-3	外国人住民に対する情報や学習機会の提供事業費	生活に必要な日本語の習得を希望する外国人住民に日本語学習の機会を提供するため、市町の日本語教室開設を支援する地域日本語教育コーディネーターの育成を行うとともに、企業による従業員への日本語学習の機会提供が進むよう、企業への啓発や支援を行います。	9,766	※		◆	
75	環境生活部	12-3	外国人住民の安全で安心な生活への支援事業費	災害時に外国人住民を支援するための外国人防災リーダーのフォローアップ研修を行います。	2,043	※		◆	
76	環境生活部	12-2	性暴力のない三重づくり推進事業費	「三重県性暴力の根絶をめざす条例（仮称）」の周知啓発を行い、二次被害の防止など性暴力被害者等支援や性暴力被害防止に関する県民の理解を促進し、性暴力のない三重県の実現に向けた気運の醸成を図ります。また、三重県の性暴力の実態を把握し、性暴力根絶の施策を効果的に推進するため、基本調査を実施します。	11,619			◆	
77	環境生活部	3-1	犯罪被害者等支援事業費	犯罪行為に対する損害賠償請求の実効性を高めるための支援など、犯罪被害者等に寄り添った支援施策を推進します。	250	※			
78	環境生活部	3-2	交通弱者の交通事故防止事業費	高齢者や歩行者、自転車利用者等の交通弱者等を対象に、「横断歩道の歩行者優先」「自転車ヘルメットの着用」などをテーマとした啓発動画による広報啓発を行います。	1,504	※		◆	

番号	部局名	施策	細事業名称	事業概要（新規・一部新規の事業部分のみ）	事業費	一部新規	市町関連	重点施策	県民提案
79	環境生活部	3-3	相談対応強化費	相談者の利便性向上や相談員の業務支援を図ることを目的に、令和8年度中に稼働予定の新全国消費生活情報ネットワークシステムに係る端末等の整備を行います。	3,542	※			
80	環境生活部	4-2	「ごみゼロ社会」実現推進事業費	中長期における一般廃棄物の持続可能な適正処理の確保に向けた市町のごみ処理広域化・集約化の調査・検討を行います。	20,900	※			
81	環境生活部	4-2	災害廃棄物適正処理促進事業費	令和6年能登半島地震を踏まえ、過去最大クラスの南海トラフ地震を想定した災害廃棄物仮置場の設置運営に係る実地訓練や災害廃棄物処理に係る図上演習等を実施し、人材の育成を進めます。	17,072	※		◆	
82	環境生活部	4-2	CO ₂ 削減のための高度な技術を活用したリサイクル等促進事業費	プラスチックの資源循環を促進するため、再生プラスチックの質と量の確実な供給に向け、需要とのギャップを埋めるための取組を進めます。	16,000	※		◆	
83	環境生活部	4-1	環境学習情報センター運営費	環境問題への気づきを引き出し環境保全の具体的な行動を促進するため、最新の情報を反映した展示への更新や、デジタルコンテンツ等を活用した疑似体験ができる設備の新設を進めます。	9,900	※			
84	環境生活部	4-1	脱炭素社会推進事業費	国が進める「デコ活」の県内での展開と定着を図るため、ライフスタイルにおける脱炭素化への選択肢をあらゆる世代が楽しく学習できるようにデジタルコンテンツを新たに提供します。	25,100	※			
85	環境生活部	4-4	工場・事業場大気規制費	「三重県生活環境の保全に関する条例」に係る規制のあり方の検討を行います。規制対象施設の環境への負荷の実態を確認するために調査を行い、規制の効果や必要性について検討を進めます。	2,737	※			
86	環境生活部	4-4	海岸漂着物対策推進事業費	令和6年3月に策定した「伊勢湾流域圏海洋ごみ対策推進広域計画」に基づき、三県及び関係主体との連携により、海洋ごみ等の実態調査や一斉清掃、情報発信を実施し、伊勢湾流域圏における海洋ごみの広域的な発生抑制対策を推進します。	10,000	※		◆	
87	環境生活部	4-4	盛土規制法事業費	盛土規制法に基づき令和7年度中に指定される規制区域における盛土等について、法に基づく許可事務等（県土整備部及び農林水産部に係るものを除く。）を行い、災害の発生の未然防止を図ります。	1,280				
88	環境生活部	4-4	地盤沈下対策費	地下水水位及び地盤沈下の観測機器の老朽化や通信機器の劣化があることから、システムを更新します。	3,027	※			
89	環境生活部	4-4	生活排水総合対策指導事業費	人口減少など社会情勢の変化を踏まえ、「生活排水処理アクションプログラム」の内容を点検し、必要に応じた見直しを行います。	8,558	※			
環境生活部 計					238,378				
90	農林水産部	6-1	食で生みだす絆づくり・輪づくり推進事業費	県産農林水産物の適正な価格形成に関する県民の意識醸成に向け、消費者への意識調査や普及啓発、生産者・直売所等を対象とした研修会の開催に取り組みます。	2,872	※			
91	農林水産部	6-1	大阪・関西万博の開催にあわせた農林水産物販売チャンネル拡大推進事業費	大阪・関西万博の開催に合わせ、関西圏のメディア主催イベント等において、「みえの食」の魅力発信を行い、県産食材の認知度向上および本県への誘客を促進します。	1,203	※			
92	農林水産部	6-1	航空業界と連携した「みえの食」魅力発信事業費	航空事業者と連携し、首都圏において県内各地の食材を生かした特別なディナーを提供するイベントや集客の見込める場所でのマルシェの開催に取り組みとともに、航空事業者が持つ広報媒体を活用し、「みえの食」の魅力を発信します。	5,721				□

番号	部 局 名	施策	細 事 業 名 称	事業概要（新規・一部新規の事業部分のみ）	事 業 費	一 部 新 規	市 町 関 連	重 点 施 策	県 民 提 案
93	農林水産部	6-1	県内高校生等と連携した低利用食材の利用拡大推進事業費	ジビエや藻場を食害する植食性魚類などの、環境の変化に伴って増加する未利用食材の有効活用に向け、県内高校生等と連携した商品開発に取り組みます。また、SNSを活用した情報発信や商業施設等でのイベントに取り組むことで、未利用食材を地域資源として有効活用する気運の醸成を図ります。	7,217			◆	
94	農林水産部	6-1	県産農林水産物の新たな流通モデル構築事業費	関西圏・中京圏等における県産農林水産物の魅力発信や販路拡大に向け、旬の県産農林水産物を回送電車や共同輸送、混載などにより、短時間で計画的に効率よく駅や飲食店、小売店等に輸送する新たな流通モデルの構築に取り組みます。	7,722			◆	
95	農林水産部	6-1	県内の農林水産業活性化のための県産物紹介事業費	県内の観光地やイベント等において、県内高校生と協力して三重県の農林水産物やその加工品を扱う期間限定のアンテナショップやコーナーを設置し、県産農林水産物の魅力を発信します。	4,637				□
96	農林水産部	6-1	農業分野における多様な担い手確保事業費	農業における多様な担い手の確保に向け、外国人材の活用に向けたセミナーの実施や雇用に必要となる手数料の支援、女性が働きやすい環境整備への支援、農福連携の地域拠点におけるサポート体制の構築など、年齢や性別、障がいの有無、国籍等を問わず、多様な人材が農業分野で活躍できるための環境整備に取り組みます。	20,500			◆	
97	農林水産部	6-1	農業経営基盤強化促進事業費	大規模な担い手が不在の地域において、小規模農業者が担う営農モデルの創出を図ります。	6,000	※			
98	農林水産部	6-1	未来につなぐ伊勢茶ブランドリノベーション事業費	伊勢茶産地の活力強化に向けて、産地構造改革プロジェクトを支援するほか、茶販売関連業者とともに考えるマーケットインの方針に従い、煎茶加工ライン機能改造やかぶせ茶栽培の導入など、伊勢茶ブランド力強化につながる取組を支援します。	36,400			◆	
99	農林水産部	6-1	伊勢茶ブランド展開戦略構築事業費	コト消費を重視する時代に即し、観光需要に対応した新たな伊勢茶ブランドの展開を図るため、インバウンドを含めた県外から伊勢茶産地に消費者を誘客する戦略を構築するほか、海外での伊勢茶プロモーションや関西茶品評会でのブランド価値向上に向けた支援に取り組みます。	14,500				
100	農林水産部	6-1	三重の米輸出促進事業費	輸出用米として、収量向上に向け、品種の選定試験及び生産性向上技術の実証試験に取り組むとともに、輸出の輸送時の高温による米の品質低下を防ぐための輸送方法の実証試験に取り組みます。	5,003			◆	
101	農林水産部	6-1	持続的な花とみどりのにぎわい創出事業費	花き類の集荷の効率化を図るため、「共同集荷拠点」を整備することで、持続可能な花き花木の輸送体制モデルを確立します。また、花き・花木の消費拡大に向けて、「花とみどりの三重づくり条例」に基づき、市町の花とみどりの活用にかかる新たな取組などを支援します。	4,200			◆	
102	農林水産部	6-1	野菜自給力強化体制づくり事業費	野菜の生産拡大に向け、農作業の省力・軽労型の栽培・出荷体系の構築を図るため、機械化に適した栽培体系の確立や省力機械の導入を支援するとともに、イチゴ・なばなにおいて、新たな出荷規格での販売定着に向けたプロモーションに取り組めます。	7,934			◆	
103	農林水産部	6-4	農業インフラの維持管理集約化促進事業費	人口減少や高齢化による集落機能の低下を背景に、農業水利施設等の維持管理が困難となることが懸念されることから、維持管理を担う活動組織の統合や広域化など集落間の連携による管理体制の強化と、施設管理情報の集約、データベース化など管理労力の省力化を一体的に進めます。	6,000			◆	
104	農林水産部	6-4	野生鳥獣管理事業費	ツキノワグマの出没の急増をふまえ、鳥獣保護管理員によるパトロールや、市町への捕獲権の貸出しなど、人身被害の防止に向けた取組を強化します。	13,628	※			
105	農林水産部	6-2	「もっと県産材を使おう」推進事業費	今後、木材利用の拡大が見込まれる非住宅建築物における県産材需要を獲得するため、PR効果の高い木造非住宅建築物における「三重の木」等県産材の木材調達に対して支援をします。	37,000	※			
106	農林水産部	6-2	林業の多様な労働力確保対策事業費	林業における多様な労働力を確保するため、外国人材の活用促進に向けた事業者向けセミナーの開催や、異業種との連携に向けた資機材の支援等による受入体制の整備、林業と福祉をつなぐコーディネーターによる受委託に関する情報発信・普及活動への支援等に取り組めます。	3,425			◆	

番号	部局名	施策	細事業名称	事業概要（新規・一部新規の事業部分のみ）	事業費	一部新規	市町関連	重点施策	県民提案
107	農林水産部	6-2	盛土規制法事業費	特定盛土等規制区域にかかる地域森林計画区域内の森林において、危険な盛土等による災害防止のために必要な規制を行うことにより、県民の生命及び財産の保護を図ります。	19,664				
108	農林水産部	4-3	野生生物保護事業費	ツキノワグマの出没が増していることから、自然環境保全指導員によるパトロール等、人身被害の未然防止に向けた取組を強化します。また、三重県自然環境保全条例におけるツキノワグマの位置づけの検証を進めるため、紀伊半島以外のツキノワグマ個体群に係る生息分布域と個体数の調査を行います。	31,419	※			
109	農林水産部	4-3	伊勢志摩国立公園80周年記念事業費	令和8年に伊勢志摩国立公園80周年を迎えることから、同国立公園が持つ美しい自然景観や歴史・文化を活かしたツアーのブラッシュアップやイベントの開催、自然公園施設の整備に取り組みます。	36,023				
110	農林水産部	4-3	ツキノワグマ出没防止対策事業費	ツキノワグマによる人身被害の発生を防ぐため、AI技術によるクマ出沒検知通報システムを試行的に整備し、効率的な出沒情報等の把握と関係機関への情報提供を行うとともに、県民への注意喚起に取り組みます。人とツキノワグマの棲み分けを図るため、集落への出沒等を抑制する緩衝帯の設置に取り組むモデル地区を支援します。	9,731				
111	農林水産部	6-3	高水温化等に伴う養殖新魚種導入事業費	海洋環境の変化に対応した養殖業の振興を図るため、高水温に強い新たな魚種導入の検討を進めます。	116	※			
112	農林水産部	6-3	漁協事業再編促進事業費	漁協合併等の漁協再編の取組を促進し、経営基盤の強化を図るため、漁協の不要施設の処分等に係る経費を補助します。	10,000				
113	農林水産部	6-3	新たなマガキ養殖による浜の活力再生事業費	養殖マガキの大量へい死対策のため、三倍体種苗の最適な養殖方法や種苗生産技術の開発、餌の豊富な伊勢湾での中間育成の実証に取り組みます。	17,197			◆	
114	農林水産部	6-3	遺伝情報を活用した育種による養殖の成長産業化事業費	近年急速に進む高水温化等により生産量の減少が問題となっている真珠、青さのりおよびマハタ養殖において成長産業化を実現するため、遺伝情報を活用した育種に取り組みます。	22,730			◆	
115	農林水産部	6-3	無給餌飼育による魚類養殖の効率化事業費	高水温環境における魚病被害の抑制および飼料コストの削減を図るため、養殖魚の生理状態と飼育環境に応じて適切な「無給餌期」を設ける、新たな養殖方法の確立に向けた実証に取り組みます。	6,892			◆	
116	農林水産部	6-3	水産業の多様な担い手受入環境整備事業費	水産業における多様な担い手の確保に向け、漁協等が行う、空き家改修等の研修生や新規就業者の受入体制整備および漁業現場の労働環境改善の取組を支援します。また、水福連携の情報発信や動画を活用した円滑なマッチングの促進、外国人材の活用促進に向けたセミナーの開催に取り組みます。	23,508			◆	
117	農林水産部	6-3	輸出先の多角化に向けた強固な水産物サプライチェーン構築事業費	輸出先の多角化と太い強固なサプライチェーン構築を図るため、ベトナムを新たな対象国とし、現地バイヤーの訪問と日本への産地招聘からなる双方向型の商談機会を創出するとともに、現地バイヤーと県内事業者間における県産水産物の積極的な活用等について記した「MOU（覚書）」の締結を支援します。	8,380			◆	
118	農林水産部	6-3	資源管理体制・機能強化総合対策事業費	漁協が保有する漁獲情報を一元的に収集・管理するシステムの構築や、海女と真珠の世界農業遺産登録に向けた検討を進めます。	2,155	※			
119	農林水産部	6-3	海業取組促進事業費	漁村の人々が、海や漁村に関する地域資源の価値や魅力を活用し、所得機会の増大を図る取組である海業を推進するため、漁業者や市町等が行う漁港施設等の活用に係る計画の作成を支援します。	5,000				
				農林水産部 計	376,777				

番号	部 局 名	施策	細 事 業 名 称	事業概要（新規・一部新規の事業部分のみ）	事 業 費	一 部 新 規	市 町 関 連	重 点 施 策	県 民 提 案
120	雇用経済部	8-1	若者の地元就職促進・定着支援事業費	若者等の県内就職やU・Iターン就職を促進するため、就職活動の環境変化に応じた支援を行うとともに、多様なチャネルを活用した効果的な情報発信を行います。また、県内企業における労働力不足の解消に向け、企業の採用力向上を支援するとともに、若者等とのマッチング機会を創出します。	27,796	※		◆	
121	雇用経済部	8-2	女性の県内就労総合推進事業費	若年女性等の県内での就労を促進するため、県内外の女性求職者等を対象として、「三重で楽しみ、働く魅力」をPRするとともに、働く意欲のある女性が、希望する形での就労を実現できるよう、一人ひとりのニーズに合わせた支援を行います。また、非正規雇用の女性等の正規雇用化を支援するため、新たに対象者への情報発信や企業向けのセミナーを実施します。	4,645	※		◆	
122	雇用経済部	8-2	働き方改革総合推進事業費	働き方改革の取組を推進するため、働き方改革などに取り組み企業等に、取組に応じて働き方改革推進奨励金の支給を行います。また、新たに短時間正社員制度等の多様な働き方の導入や実際の活用を促進し、誰もがライフステージの変化や個別事情に応じて柔軟に働き続けられる職場環境づくりに取り組みます。	6,375	※		◆	
123	雇用経済部	8-2	カスタマーハラスメント防止対策推進事業費	カスタマーハラスメントの発生を社会全体で防止し、県内で働く労働者の就業環境を守るため、条例や指針を整備するとともに、県内企業が取り組むカスタマーハラスメント防止対策への支援や情報発信を行います。	21,753			◆	
124	雇用経済部	8-2	生涯現役促進地域連携事業費	高齢者が安心して就労できる職場環境づくりに向け、県内企業を対象にセミナーや個別相談会を開催するとともに、求職者の再就職に向けた就職準備セミナーや新たにキャリアコンサルタント等による個別相談会を開催します。	8,708	※			
125	雇用経済部	8-2	外国人人材雇用・就労支援事業費	外国人労働者が安心して働くことのできる職場環境づくりを進めるため、県内企業向けセミナー等の充実を図るとともに、就職を希望する外国人向けに合同企業説明会等を開催します。加えて、外国人労働者も企業も相談できる総合的な相談窓口の設置や、県内企業が外国人労働者の受入れ後に実施する取組への支援について、調査・研究を行います。	20,561	※		◆	
126	雇用経済部	8-2	外国人人材確保支援事業費	専門技術・知識を有する高度外国人材の採用をめざす県内企業を支援するため、海外での合同面接会をベトナムに加え、新たにインドネシアにおいても開催し、現地の大学生等と県内企業とのマッチング機会を創出します。	33,567	※		◆	
127	雇用経済部	8-2	はじめての障がい者雇用支援事業費	雇用率制度の改正により、令和7年4月からさらに雇用が義務づけられた企業に加え、障がい者雇用を検討している県内企業等に対し、専門家を派遣し、業務切り出しや受入れ環境整備など、それぞれの企業に寄り添った伴走支援を行います。また、県内各地域で企業と就労支援機関等との交流会を開催し、雇用拡大や定着支援につなげます。	1,345	※		◆	
128	雇用経済部	5-3	首都圏における三重の食・伝統産業の魅力発信事業費	三重の食・伝統産業事業者の持続的発展や後継者確保につなげるため、三重県誕生150周年の好機を生かし、首都圏における三重の食・伝統産業の認知度向上に取り組めます。	2,799				
129	雇用経済部	5-3	工芸EXPO出展事業費	三重の伝統工芸に対する理解と関心を深め、より一層の普及を図るため、令和7年度伝統的工芸品月間国民会議全国大会（工芸EXPO）等に出席し、全国の伝統的工芸品とともに展示販売や実演を行います。	6,788				
130	雇用経済部	7-2	GX・成長産業の集積・振興事業費	GXの推進により、EV事業や洋上風力など新たな成長産業の集積・振興を図り、県内ものづくり産業の競争力を維持・強化するため、新たな協業先とのマッチングや医療・介護現場における試作品等の実証支援などを実施するとともに、異業種からのEV事業参入など、新たな産業集積の実現可能性を調査します。	16,000			◆	
131	雇用経済部	7-2	クリーンエネルギーインフラの整備等促進事業費	カーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギーの導入促進を図るため、洋上風力発電に係る国の次期実証事業への応募を見据えたポテンシャル調査を実施するとともに、次世代太陽光発電の導入に係る検討や実証を行うほか、水素、アンモニア、バイオ燃料等の利活用やサプライチェーン構築等に向けた技術開発・実証事業等を実施する県内企業を支援します。	25,000			◆	

番号	部局名	施策	細事業名称	事業概要（新規・一部新規の事業部分のみ）	事業費	一部新規	市町関連	重点施策	県民提案
132	雇用経済部	7-3	県内投資促進事業費	産業用地の喫緊の需要に対応するため、新たに工場等を立地する企業が実施する居抜き物件の建屋撤去費に対する補助を行い、未利用地の活用を促進します。また、地域の活性化や雇用創出を図るため、スタートアップ企業等の集積に向けたインキュベーション施設の整備や、企業の一部機能（調査・設計部門等）の誘致に係る進出企業を支援します。	110,000	※			
133	雇用経済部	7-3	半導体産業投資促進事業費	半導体産業の振興に向けた方針を策定するとともに、半導体人材の育成・確保に向け、就職説明会や県内大学等と連携した出前授業等を実施するほか、海外大学生の就業体験の受け入れ等を進めます。また、商談会等を開催し、県内企業の販路拡大等につなげます。	18,514	※		◆	
134	雇用経済部	7-1	みえ中小企業・小規模企業振興推進協議会事業費	「三重県中小企業・小規模企業振興条例」について、県内経済情勢の変化等に対応するため、改正に向けた検討を行います。	906	※			
135	雇用経済部	7-1	中小企業等経営力・生産性向上推進事業費	県内中小企業・小規模企業が、直面する課題に対応しながら、経営力・生産性の向上に取り組むことを促進するため、「三重県版経営向上計画」の質的向上につなげるセミナー開催や、専門家派遣による伴走支援等を行います。	5,508			◆	
136	雇用経済部	7-1	副業・兼業人材活用促進事業費	県内中小企業・小規模企業が副業・兼業人材を活用するための補助金について、初めて副業・兼業人材を利用する企業の対象経費や補助率を拡充します。また、副業・兼業人材の活用に関する理解を深めるために、セミナーや個別相談会を実施するとともに、活用事例を周知するための動画等の啓発用ツールを作成します。	17,645	※		◆	
137	雇用経済部	10-1	スタートアップ支援事業費	三重発スタートアップの創出・成長をめざし、みえスタートアップ支援プラットフォームのワンストップ窓口機能に、新たに専門家面談を追加するとともに、新たに首都圏の多様なスタートアップ等が集まるインキュベーション施設を活用し、起業人材の流入につなげます。また、学生等の若年層や子育て世代の女性等の潜在層の発掘を行うとともに、新たに事業計画の仮説検証を支援するプログラムを設け、これまで以上に成長段階に応じた丁寧な支援を進めます。	15,241	※		◆	
138	雇用経済部	10-1	DX人材育成推進事業費	中小企業のDXを推進するための専門スキルを学習する研修や、女性のデジタルスキル習得に向けた研修を行います。	21,019	※		◆	□
				雇用経済部 計	364,170				
139	観光部	5-2	観光データ調査事業費	本県の外国人延べ宿泊者数の回復率（令和元年比）や日本人宿泊者の平均宿泊日数が全国的にも低位である原因を分析するため、リアルタイム性のある観光客動態・消費動向調査を実施するとともに、観光産業の側からその原因を分析するためインバウンド宿泊事業者実態調査を実施します。また、データに基づいた観光マーケティングを推進するため、収集したデータの利活用について学ぶ「マネジメントデータ利活用研修」を実施します。	49,489	※			
140	観光部	5-1	観光産業支援事業費	観光産業が抱える生産性の低さや人材不足等の課題解決に向け、個別コンサルティングやセミナーの実施等により生産性向上及び人材確保に一体的に取り組む、観光事業者の経営力向上を支援します。	21,796	※		◆	
141	観光部	5-1	観光客受入環境整備事業費	国内外の旅行者が快適に観光を楽しめる環境の充実のため、宿泊施設の和洋室化やトイレの洋式化等の取組や熊野古道伊勢路沿線トイレの環境整備を支援します。また、高付加価値旅行者層のニーズに対応できる観光ガイドの確保・育成に向けた実践的な講座や活躍機会創出に取り組むほか、宿泊施設の誘致に関する専門的な知見を有するアドバイザーを活用し、上質な宿泊施設の誘致に取り組みます。	613,042	※		◆	
142	観光部	5-1	全県DMO経営基盤強化事業費	（公社）三重県観光連盟が市町、地域、事業者と連携して実施する県の施策と合致した国内向け共同プロモーションの取組を支援します。	4,180	※			

番号	部局名	施策	細事業名称	事業概要（新規・一部新規の事業部分のみ）	事業費	一部新規	市町関連	重点施策	県民提案
143	観光部	5-1	拠点滞在型観光推進事業費	地域連携による滞在価値の向上や滞在価値を旅行商品として販売提供する体制・仕組み構築に向けて、専門家の伴走支援や旅行会社等とのマッチング機会の提供、県観光公式サイトより旅行申し込み可能とする仕組みに取り組みます。	22,610	※			
144	観光部	6-4	農山漁村インバウンド受入加速化事業費	農山漁村地域での訪日外国人旅行者の受入の必要性が高まる中、農山漁村地域における訪日外国人旅行者起点のマーケティング調査の実施や、マーケティング調査の結果を踏まえた訪日外国人旅行者に満足度の高い体験プログラム等の開発を行い農山漁村地域の強みを生かした観光コンテンツを増やすことで、訪日外国人旅行者の三重県における滞在価値の向上と周遊促進を図り、農山漁村地域における持続的な収益の確保・地域の雇用創出に繋がります。	7,000			◆	
145	観光部	13-1	ユニバーサルデザインタクシー導入推進事業費	令和6年度に国土交通省の認定要領に、より安価で、適合車両に既存のガソリン車も含まれる「認定レベル準1」の基準が創設されたことから、県としても、「認定レベル準1」の車両を新たに補助対象の区分に設定し、より一層の普及に取り組みます。	3,180	※			
146	観光部	5-2	海外MICE誘致促進事業費	G7伊勢志摩サミットやG7三重・伊勢志摩交通大臣会合の開催地としてのブランド力や美しい自然、歴史・文化、多様な産業の集積といった強みを生かし、国内外において積極的なセールス活動を行うほか、MICE誘致促進補助金の対象を企業ミーティング、インセンティブ旅行まで拡大することで、県内経済への波及効果が高いMICEの誘致を図ります。	14,770	※			
147	観光部	5-2	高付加価値旅行者層誘致促進事業費	海外からの高付加価値旅行者層を誘致するため、商談会やファミトリップによるプロモーションを行うとともに、フランス市場からの福利厚生旅行等の誘致に向けて観光セミナーや旅行会社の招請を実施します。また、奈良県、和歌山県と連携し、紀伊半島として広域での高付加価値旅行者層の誘致に取り組みます。	19,364	※		◆	
148	観光部	5-2	産業観光推進事業費	三重県産業観光推進協議会が海外から誘致する報奨旅行・研修旅行の県内での宿泊促進・滞在長期化を図るため、県内観光地で利用できるクーポンと観光ガイドサービスを提供します。	1,815	※			
149	観光部	5-2	プラス三重旅促進事業費	ゴールデンルートから県内への旅行者の周遊・宿泊を促進するため、海外の宿泊・体験OTA及び検索サイトを活用した情報発信や、万博会場や関西国際空港での観光PR、中央日本総合観光機構及び中部圏の近隣自治体と連携したプロモーションに取り組みます。	(29,860) 5,683	※		◆	
150	観光部	5-2	海外誘客推進プロジェクト事業費	観光誘客に重点的に取り組む市場に向け、関係団体等と連携し、セミナーや商談会、旅行会社・インフルエンサーの招請等の取組を強化するとともに、観光・物産・食が一体となった観光物産展等の取組を行うことで、本県の認知度や関心の向上を図ります。また、本県が車を活用した周遊観光に適していることを踏まえ、海外からのレンタカー利用客の誘客を進めます。加えて、インバウンド誘客に向けた取組の方向性を検討します。	108,246			◆	
観光部 計					(895,352) 871,175				
151	県土整備部	1-1	県単水防事業費	現状の水防情報システムを改修し、伝達機能を付加することにより水防業務の迅速化、効率化を図ります。	60,753	※			
152	県土整備部	1-3	砂利等採取関係取締事務費	盛土規制法による規制区域のうち、砂防三法が関連する区域において、危険な盛土等による災害防止のために必要な規制を行うことにより、県民の生命及び財産の保護を図ります。	517	※			
153	県土整備部	1-3	都市防災総合推進事業費	盛土規制法による規制区域での宅地等開発において、災害防止のための規制を行うことにより、県民の生命及び財産の保護を図ります。	2,179				
154	県土整備部	11-3	2027年国際園芸博覧会関係費	「2027年国際園芸博覧会」に自治体出展として屋外庭園の造成・展示を行うことで、全国、そして全世界に向けて、三重県の魅力をまちづくり・造園・園芸といった視点から発信します。	1,500				
155	県土整備部	11-3	県営都市公園防災機能強化事業費	一時避難場所に指定されている県営都市公園にマンホールトイレを設置するなど防災機能の強化に取り組みます。	33,000				
県土整備部 計					97,949				

番号	部局名	施策	細事業名称	事業概要（新規・一部新規の事業部分のみ）	事業費	一部新規	市町関連	重点施策	県民提案
156	人事委員会事務局	行政委員会	試験実施事務費	県職員の人材確保のため、県職員採用情報や県職員として働くことの魅力等について情報を届け、関心を抱かせ、採用試験の受験につなげていくため、三重県職員採用ポータルサイトをプロに委託して構築し、ビジュアル的に見やすいデザインでの構築やレスポンスWEB対応を行い、WEB広告で情報を届けることで、採用試験の受験者確保につなげます。	12,004	※		◆	
				人事委員会事務局 計	12,004				
157	警察本部	1-1	ヘリコプター運用・維持費	ヘリコプターテレビシステム地上設備の継続的かつ安定運用を確保するため、設備更新に向けた設計委託業務及び更新工事を実施します。	11,800	※			
158	警察本部	1-1	災害警備対策費	大規模災害発生時における警察機能の維持及び災害対処能力の強化を図るため、交番・駐在所にポータブル電源を整備するほか、災害警備活動服、災害対策用トイレ、衛星携帯電話の整備を行います。	60,300	※		◆	
159	警察本部	3-1	警察広報推進費	警察音楽隊が令和7年度に創設70周年を迎えるにあたり、三重県誕生150周年プレイベントとして、三重県文化会館で演奏会を開催します。	683	※			
160	警察本部	3-1	特殊詐欺被害防止対策事業費	SNS型投資・ロマンス詐欺などのSNS等に起因する犯罪や特殊詐欺の被害防止を図るほか犯罪実行者募集情報対策のため、ターゲティング広告による各手口の被害者層に対する直接的・能動的な注意喚起を実施するとともに、プロの役者等による演劇を活用した啓発に取り組みます。	(42,621) 4,066	※		◆	
161	警察本部	3-1	県民が安心して歩ける防犯まちづくり事業費	犯罪認知件数が増加している中、犯罪の防止、事件事故の早期解決及び県民の安心感の醸成を図るため、街頭防犯カメラの設置等を進めます。	(117,728) 1,152	※		◆	
162	警察本部	3-1	サイバー犯罪対処能力向上事業費	サイバー空間における脅威的確に対処するため、職員の対処能力の向上を図る必要があることから、サイバーセキュリティ企業等が開催する研修を受講させて、専門的知識を有する捜査員の育成を図ります。	3,828	※		◆	
163	警察本部	3-1	学生防犯ボランティア支援事業費	学生の防犯ボランティアへの参加促進、学生防犯ボランティア団体の活性化、活動の促進を図り、学生の情報発信力を生かした広報啓発が行えるよう、学生防犯ボランティア団体を支援する事業を行います。	1,713				□
164	警察本部	3-1	情報技術解析推進事業費	高度な解析用資機材を追加整備するなど、情報技術に係る解析環境を高度化し、情報技術解析能力の向上、犯罪の早期検挙に向けた取組を推進します。	18,697	※		◆	
165	警察本部	3-1	捜査支援システム整備事業費	犯罪の早期検挙に向けて、防犯カメラ画像等の分析を行う高度AI画像分析システムを拡充し、捜査支援分析力の一層の強化に取り組みます。	102,382	※			
166	警察本部	3-1	被害者支援推進費	性犯罪被害相談電話#8103（ハートさん）の周知を図り、被害に遭われた方が、一人で悩みを抱えることなく、相談につなげるため、イベント等において啓発キャラクターを用いた広報や、子どもから大人まで覚えてもらいやすい動画を作成し、デジタルサイネージやSNS等で広報します。	4,090	※			□
167	警察本部	3-2	運転免許試験実施費	道路交通法施行規則等の改正によるAT限定大型免許等の導入に伴い、改正法令に適合する試験車両等を整備します。	60,216	※			
168	警察本部	3-2	「交通社会に参加する子どもたちを守る」交通安全教育事業	子どもたち（高校生を含む。）の自転車事故を防ぐため、自転車の安全な利用を促す短時間動画を作成し、WEB広告において配信することにより、交通安全意識の醸成を図ります。	4,098				□
169	警察本部	15-3	児童虐待対応力強化事業費	児童虐待への事業対応力を向上させるため、地域警察官に配備しているスマートフォン型データ端末をウェアラブルカメラとして活用することで、現場の状況をリアルタイムで組織的に把握し、対応できる体制を構築します。	2,992			◆	
				警察本部 計	(431,148) 276,017				

番号	部局名	施策	細事業名称	事業概要（新規・一部新規の事業部分のみ）	事業費	一部新規	市町関連	重点施策	県民提案
170	教育委員会	12-1	人権教育広報・研究事業費	すべての教職員を対象に人権問題に関する知識理解を深める研修を実施します。また、人権教育に関する校内研修の活性化や人権学習促進のための動画等資料を作成します。	1,606	※		◆	
171	教育委員会	14-1	学力向上推進事業費	若手教員等の授業力の向上のため、授業力向上アドバイザーをモデル校に派遣して、授業や校内研修への指導・助言を行うとともに、複数の学校の若手教員等が学校の垣根を越えて学び合う機会を設けます。授業力向上アドバイザーの派遣に際しては、モデル校の若手教員が月に1度程度指導を受けられる機会を設定します。	15,059	※		◆	
172	教育委員会	14-1	学習習慣の確立に向けた取組推進事業費	家庭学習等、児童生徒の学習習慣の確立に向けて、有識者等の指導・助言を得ながら、モデル校で取組の好事例を構築します。加えて、その成果を県内に水平展開し、県全体の学習習慣の確立を図ります。	2,000			◆	
173	教育委員会	14-1	自己肯定感を涵養する教育推進事業費	子どもたちが、学ぶ楽しさや分かる喜び、「自分も一人の人間として大切にされている」という実感につながる指導が行えるよう、学校単位であったモデル校をモデル中学校区、モデル地域等、広域での支援もできるよう拡大します。	439	※		◆	
174	教育委員会	14-1	子どもと本をつなぐ環境整備促進事業費	令和7年度から開始する次期読書活動推進計画となる「本ももうねっとプラン（仮称）」でめざす「多様な子どもがたくさんの本と出会う機会づくり」のために、団体や企業、学校、行政などの多様な主体が連携・協働するネットワークをコーディネートし、社会全体で読書活動を推進する気運を醸成します。県立図書館と連携し、県立学校で電子書籍が利活用できるよう整備します。	8,457	※		◆	
175	教育委員会	14-1	みえ子どもの元気アップ体力向上推進事業費	小学校体育指導充実非常勤講師配置校に対して、有識者を講師として招聘し、各学校で取り組みやすい運動について学ぶ研修会を開催するとともに、研修会参加校において体力向上に向けた取組を実施します。	308	※			
176	教育委員会	14-2	未来へつなぐキャリア教育推進事業費	進学希望者が多い普通科で学ぶ生徒が、将来の生き方や職業について考えを深める契機となるよう、県内企業を持つ技術やノウハウを体験できる企業展を開催するとともに、生徒が県内企業で活躍する職業人から話を伺う機会や、企業を訪問する機会を拡充し、企業と連携した探究学習を推進します。	6,000	※		◆	
177	教育委員会	14-2	世界へはばたく高校生育成支援事業費	将来社会に出る生徒が、外国人労働者をはじめ価値観の異なる多様な人々と職場等で協働しリーダーシップを発揮できるよう、外国人労働者を雇用している県内企業を訪問し、経営者からの話や外国人労働者との対話の機会を持つとともに、県内企業の海外事業所への訪問や就労体験等を実施し、結果を「みえ探究フォーラム」にて発表するとともに、活動報告書にまとめ、他校の高校生への共有を図ります。	9,276	※			□
178	教育委員会	14-2	高等学校DX加速化推進事業費	デジタル技術等成長分野を支える人材を育成するため、国のDXハイスクール事業を指定校において実施し、ハイスペックPCや3Dプリンタ等のICT機器や、専門高校における高度な実習設備の整備を進めるとともに、情報、理数教育を重視するカリキュラムの実施やICTを活用した文理横断的・探究的な学びの充実に取り組みます。	(185,000) 0				
179	教育委員会	14-2	次代を担う社会の担い手育成支援事業費	高校生が平和の大切さや命の尊さを実感し継承していくため、戦争と平和に関する講演や大学生を交えた意見交換、紛争地域に暮らす同年代の海外の学生等との交流など、平和について考えや理解を深めるワークショップを実施します。	3,915	※		◆	
180	教育委員会	14-4	いじめ対策推進事業費	教職員等が「子どもアドボカシー」の理解を深め、子どもの意見表明を支援する環境が整えられるよう、子どもの権利や「子どもアドボカシー」について学ぶ動画教材や資料を作成します。	3,189	※		◆	
181	教育委員会	14-5	中学校運営費	令和7年4月に開校する「みえ四葉ヶ咲中学校」に入学する生徒が、個々の状況に応じていきいきと学習できるよう学習環境の整備や学校運営を行います。	29,544				

番号	部局名	施策	細事業名称	事業概要（新規・一部新規の事業部分のみ）	事業費	一部新規	市町関連	重点施策	県民提案
182	教育委員会	14-5	不登校対策事業費	学校へ行くことはできるが、教室に入れないなどの兆候がみられる児童生徒や、不登校から学校復帰する段階にある児童生徒が安心して学習、相談支援を受けることができるようにするため、市町教育委員会が行う校内教育支援センターへの指導員配置を支援します。	25,575	※	☆	◆	
183	教育委員会	14-5	学校安全推進事業費	自転車乗車時のスマホ利用などの交通違反が原因となる事故が起きていることから、高校生が、交通法規の遵守や交通マナーに関する意識の向上とともに自転車乗車時のヘルメット着用率の向上に向けた効果的な取組について、意見交流を行うバイシクルサミットを開催します。	350	※			
184	教育委員会	14-6	県立学校災害復旧費	令和6年度に発生した台風第10号により被害を受けた県立学校の災害箇所を復旧するとともに、再度の災害発生を防止するための工事を実施します。	80,000				
185	教育委員会	14-6	多様な学習コンテンツを提供する遠隔授業システム整備事業費	学校の規模や立地に関わらず、全ての生徒が多様な学びを選択し、希望する進路を実現できるよう、多様かつ専門性の高い教科・科目の授業等を遠隔配信するセンターの設置に向けて、令和7年度は配信機器等の整備や、先進自治体の取組についての調査・研究等、遠隔授業システムの構築に向けた準備に取り組みます。	63,436			◆	
186	教育委員会	14-6	教員不足解消に向けた緊急対策事業費	教員の人材確保に向け、移住促進課の実施する移住フェア等に出展し、移住希望者や転職希望者に対して教職の魅力発信するとともに、教員免許取得に関する説明会を開催します。また、生成AIライセンスを教育委員会事務局や県立学校に部分的に導入し、生成AIを用いた業務改善の拡大を図り、教員の働き方改革を推進します。さらに、教職の魅力発信するため、「おしごと広場みえ」等と連携し、就職ガイダンス等へ出展します。	3,708			◆	
187	教育委員会	14-6	教職員研修事業費	着任2～3年目の教員が課題の解決方法を見出し、教職の魅力ややりがいを実感することができるよう、自ら学べるオンデマンド研修用コンテンツを作成します。また、教職員の児童生徒への性暴力防止に向け、児童生徒が安心して過ごせる学校づくりを進めるためのオンデマンド教材を作成します。	3,284	※		◆	□
188	教育委員会	16-1	埋蔵文化財センター管理運営費	埋蔵文化財に係る必要な発掘調査や適切な保存管理を行うための恒温恒湿収蔵庫や新設収蔵庫の整備を行うとともに、展示施設や多機能トイレの整備を行い、文化財の公開・活用環境を整え、県民への公開・普及を促進します。	170,170	※			
				教育委員会 計	(611,316) 426,316				
合 計					(8,620,452) 7,126,893				

6. 知事査定事業一覧表

(単位:千円)

部局名	項目	事業費			査定の考え方
		要求額 ①	知事査定結果 ②	査定額 (②-①)	
県土整備部	公共事業	73,787,384	73,787,384	0	要求どおり認める。
農林水産部	公共事業	18,379,989	18,379,989	0	要求どおり認める。
子ども・福祉部 医療保健部 教育委員会	みえ子どもまるごと支援パッケージ・3rd ステージ	11,240,601	11,240,601	0	要求どおり認める。
観光部	インバウンド誘客	1,894,084	1,831,400	▲ 62,684	要求どおり認める。 (一部、令和6年度2月補正(その1)へ前倒し)
地域連携・交通部	移住の促進	127,388	127,388	0	要求どおり認める。
地域連携・交通部	公共ライドシェア等の推進	130,000	130,000	0	要求どおり認める。
政策企画部 環境生活部 雇用経済部	ジェンダーギャップ解消	500,503	500,503	0	要求どおり認める。 なお、知事査定ヒアリングの事業費との差額はジェンダーギャップ解消の構成事業を見直したことによる。(みえ子ども・子育て応援総合補助金330,428千円)
防災対策部	南海トラフ地震対策	3,768,366	3,765,366	▲ 3,000	要求どおり認める。 (一部、令和6年度2月補正(その1)へ前倒し)

109,828,315	109,762,631	▲ 65,684
-------------	-------------	----------

※1月22日時点の要求額109,564,641千円との差額は、計数整理中であったことによるもの

7. 事業の見直し一覧表

部 局 名	令和7年度当初予算編成における見直し事業件数			
	合 計	左 の 内 訳		
		廃 止	リフォー ム	休 止
総務部	0	0	0	0
政策企画部	4	0	0	4
地域連携・交通部	4	2	2	0
防災対策部	0	0	0	0
医療保健部	0	0	0	0
子ども・福祉部	3	0	2	1
環境生活部	2	1	1	0
農林水産部	14	9	3	2
雇用経済部	12	5	7	0
観光部	11	9	2	0
県土整備部	2	1	0	1
教育委員会	2	2	0	0
警察本部	1	1	0	0
部外	0	0	0	0
合 計	55	30	17	8

	合 計	廃 止	リフォー ム	休 止
見直し事業件数	55	30	17	8
(上 段 一般財源)	(▲587,046)	(▲777,241)	(190,561)	(▲366)
見直し事業費	▲ 1,057,044	▲ 1,187,147	219,310	▲ 89,207

事業の見直し調書

(注)調書の各記号の意味は、以下のとおりです。

「◇」…令和6年度重点施策枠のもの

「□」…令和7年度重点施策枠のもの

「◎」…市町予算と関係があると考えられるもの

「▲」…いわゆる「当然減」によるもの

「△」…リフォーム事業のうちリフォームにより細事業本数が減少するもの

(単位：千円)

番号	細事業名	区分			令和6年度	令和7年度	差引	説明	部局名
		廃止	リフォー ム	休止	当初予算額A	当初予算額B	B-A		
▲	1 国勢調査準備調査費			1	1,650	0	-1,650	5年に1度の周期調査にかかる当該年度の準備作業が終了したため、次回まで休止します。	政策企画部
▲	2 国勢調査調査区設定費			1	12,913	0	-12,913	5年に1度の周期調査にかかる当該年度の準備作業が終了したため、次回まで休止します。	政策企画部
▲	3 全国家計構造調査費			1	41,836	0	-41,836	5年に1度の周期調査のため、次回調査実施まで休止します。	政策企画部
▲	4 漁業センサス費			1	328	0	-328	5年に1度の周期調査のため、次回調査実施まで休止します。	政策企画部
◎▲	5 離島航路船舶新造事業補助金	1			38,500	0	-38,500	事業の目的を達成したため、廃止します。	地域連携・交通部
◇▲	6 熊野古道世界遺産登録20周年事業費	1			33,677	0	-33,677	周年事業の終了により廃止します。	地域連携・交通部
◇□◎△	7 熊野古道活用促進事業費(旧 熊野古道活用促進事業費)(旧 熊野古道伊勢路受入環境整備事業費)		1		73,455	26,097	-47,358	事業をより効率的に実施するため、熊野古道伊勢路受入環境整備事業費(案内標識等整備)を熊野古道活用促進事業費に統合します。	地域連携・交通部
	8 地域のきらりスポーツ推進事業費(旧 競技力向上対策事業費)		1		66,254	61,958	-4,296	競技力向上対策事業費のうち、より地域活性化に資するものについて分離・再編を行い、1事業化します。	地域連携・交通部

番号	細事業名	区分			令和6年度	令和7年度	差引	説明	部局名
		廃止	リフォー ム	休止	当初予算額A	当初予算額B	B-A		
▲	9 戦傷病者援護事業費			1	14	0	-14	療養給付の対象者が死亡し、今後新たな対象者が現れる可能性が低いため休止します。	子ども・福祉部
△	10 児童虐待法的対応推進事業費 (旧 児童虐待法的対応推進事業費) (旧 発達障がい児への支援事業費)		1		186,421	300,458	114,037	児童虐待防止総合対策事業に同じ趣旨の施設職員向け研修があるため、統合します。	子ども・福祉部
△	11 子どもの育ちの推進事業費 (旧 子どもの育ちの推進事業費) (旧 少子化対策県民運動等推進事業費)		1		34,607	44,114	9,507	事業をより効率的・効果的に実施するため、子どもの育ちの推進事業費と少子化対策県民運動等推進事業費を統合します。	子ども・福祉部
	12 創造活動サポート事業費	1			1,200	0	-1,200	助成事業の目的が一定程度達成されたため廃止します。	環境生活部
△	13 人権施策総合推進事業費 (旧 人権施策総合推進事業費) (旧 人権文化のまちづくり創造事業費)		1		2,425	1,871	-554	事業をより効率的・効果的に実施するため、人権施策総合推進事業費と人権文化のまちづくり創造事業費を統合します。	環境生活部
▲	14 未利用食材を活用した「みえの食」魅力発信事業費	1			9,774	0	-9,774	事業実施期間終了に伴い廃止します。	農林水産部
	15 農福連携におけるスマート技術環境改善実証事業費	1			2,119	0	-2,119	事業の目的を達成したため、廃止します。	農林水産部
▲	16 農福連携による青果物のスマート流通体制整備事業費	1			3,925	0	-3,925	事業実施期間終了に伴い廃止します。	農林水産部
▲	17 伊勢茶を愛する県民運動展開事業費	1			6,399	0	-6,399	事業実施期間終了に伴い廃止します。	農林水産部
	18 アンバサダーマーケティングによる県産米消費拡大対策推進事業費	1			3,722	0	-3,722	事業の目的を達成したため、廃止します。	農林水産部
▲	19 みえの畜産物産地づくり推進事業費	1			5,548	0	-5,548	事業実施方法の変更のため廃止します。	農林水産部
▲	20 県営受託高度水利機能確保基盤整備事業費			1	2,100	0	-2,100	令和7年度は事業の対象地区がないため休止します。	農林水産部

番号	細事業名	区分			令和6年度	令和7年度	差引	説明	部局名
		廃止	リファーム	休止	当初予算額A	当初予算額B	B-A		
△ 21	「もっと県産材を使おう」推進事業費 (旧「もっと県産材を使おう」推進事業費) (旧 豊かな暮らしを創る身近な「三重の木づかい」推進事業費)		1		34,641	63,963	29,322	事業をより効率的に実施するため、「もっと県産材を使おう」推進事業費と豊かな暮らしを創る身近な「三重の木づかい」推進事業費を統合します。	農林水産部
△ 22	林業・木材産業振興事業費 (旧 森林整備対策費) (旧 林業・木材産業構造改革事業費)		1		302,611	406,307	103,696	事業をより効率的に実施するため、森林整備対策費と林業・木材産業構造改革事業費を統合します。	農林水産部
□ △ 23	林業の多様な労働力確保対策事業費 (旧 林福連携におけるコーディネート人材の育成・活動支援事業費)		1		3,000	3,425	425	事業をより効率的に実施するため、林福連携におけるコーディネート人材の育成・活動支援事業費を林業の多様な労働力確保対策事業費に統合します。	農林水産部
▲ 24	県営受託治山事業費			1	30,000	0	-30,000	令和7年度は事業の対象地区がないため休止します。	農林水産部
25	水産業スマート化推進事業費	1			459	0	-459	事業の目的を達成したため、廃止します。	農林水産部
26	気候変動に適応する強靱な新養殖事業費	1			12,299	0	-12,299	事業の目的を達成したため、廃止します。	農林水産部
27	水福連携におけるコーディネート人材の育成・活動支援事業費	1			1,600	0	-1,600	事業の目的を達成したため、廃止します。	農林水産部
◇ 28	多様な人材の就労支援事業費	1			7,986	0	-7,986	事業をより効率的に実施するため、高齢者雇用に関する企業向け相談業務は、生涯現役促進地域連携事業費で実施するとともに、外国人雇用に関する企業向け相談業務は、外国人材雇用・就労支援事業費で実施することから廃止します。	雇用経済部
29	ワーケーション利用促進事業費	1			1,000	0	-1,000	事業の目的を達成したため廃止します。	雇用経済部
△ 30	伝統産業・地場産業の新たな市場開拓促進事業費 (旧 伝統産業・地場産業の新たな市場開拓促進事業費) (旧 伝統産業・地場産業のエンカール商品販売促進事業費)		1		11,965	8,867	-3,098	事業をより効率的に実施するため、伝統産業・地場産業の新たな市場開拓促進事業費と伝統産業・地場産業のエンカール商品販売促進事業費を統合します。	雇用経済部
△ 31	みえの食セレクション運営・販路創出支援事業費 (旧 みえの食セレクション運営・販路創出支援事業費) (旧 食のローカル・ブランディング推進事業費)		1		9,599	5,971	-3,628	事業をより効率的に実施するため、みえの食セレクション運営・販路創出支援事業費と食のローカル・ブランディング推進事業費を統合します。	雇用経済部

番号	細事業名	区分			令和6年度	令和7年度	差引	説明	部局名
		廃止	リファーム	休止	当初予算額A	当初予算額B	B-A		
△ 32	成長産業振興事業費 (旧 航空宇宙産業振興事業費) (旧 メディカルバレー産学官民連携事業費) (旧 みえライフイノベーション総合特区促進プロジェクト事業費) (旧 ものづくり中小企業の競争力強化支援事業費)		1		26,933	35,314	8,381	事業をより効率的に実施するため、成長産業の振興に対する支援について、航空宇宙産業振興事業費とメディカルバレー産学官民連携事業費とみえライフイノベーション総合特区促進プロジェクト事業費ともものづくり中小企業の競争力強化支援事業費の一部を統合します。	雇用経済部
△ 33	ものづくり中小企業の競争力強化支援事業費 (旧 みえ産学官連携基盤技術開発研究事業費) (旧 次世代自動車開発支援事業費) (旧 CN・EV化等に係る成長産業推進事業費)		1		27,037	20,002	-7,035	事業をより効率的に実施するため、みえ産学官連携基盤技術開発研究事業費の一部と次世代自動車開発支援事業費の一部とCN・EV化等に係る成長産業推進事業費の一部を統合します。	雇用経済部
△ 34	科学技術振興事業費 (旧 知的財産権・創意工夫の強化支援事業費) (旧 顧問等設置事業費) (旧 みえ産学官連携基盤技術開発研究事業費)		1		58,915	57,758	-1,157	事業をより効率的に実施するため、知的財産権・創意工夫の強化支援事業費と顧問等設置事業費、みえ産学官連携基盤技術開発研究事業費の一部を統合します。	雇用経済部
△ 35	中小企業・小規模企業の課題解決支援事業費 (旧 中小企業・小規模企業の課題解決支援事業費) (旧 エネルギー関連技術開発研究事業費) (旧 みえ産学官連携基盤技術開発研究事業費) (旧 ものづくり中小企業の競争力強化支援事業費)		1		125,525	107,657	-17,868	事業をより効率的に実施するため、エネルギー関連技術開発研究事業費、みえ産学官連携基盤技術開発研究事業費の一部及びものづくり中小企業の競争力強化支援事業費の一部を統合します。	雇用経済部
◇ 36	CN・EV化等に係る成長産業推進事業費	1			10,959	0	-10,959	事業実施期間終了に伴い廃止します。	雇用経済部
◇ 37	カーボンニュートラルコンピナート(CNK)推進事業費	1			16,982	0	-16,982	事業実施期間終了に伴い廃止します。	雇用経済部
◇ 38	洋上風力発電に係る新たな産業創出の可能性調査・検討事業費	1			7,000	0	-7,000	事業実施期間終了に伴い廃止します。	雇用経済部
△ 39	四日市コンビナート競争力強化事業費 (旧 四日市コンビナート競争力強化事業費) (旧 次世代自動車開発支援事業費)		1		61,460	60,298	-1,162	事業をより効率的に実施するため、次世代自動車開発支援事業費の一部を統合します。	雇用経済部
40	みえのさと体験推進事業費	1			8,908	0	-8,908	事業の目的を達成したため、廃止します。	観光部
41	観光事業推進費	1			534	0	-534	観光大使活動費を観光誘客促進事業費へ、観光防災対策費を観光戦略費へ移管することに伴い廃止します。	観光部

◇ □ ◎ ▲ △

番号	細事業名	区分			令和6年度	令和7年度	差引	説明	部局名	
		廃止	リフォー ム	休止	当初予算額A	当初予算額B	B-A			
42	戦略的な観光マーケティング推進事業費	1			82,576	0	-82,576	観光データ調査事業費へ移管することに伴い廃止します。	観光部	
43	観光産業生産性向上推進事業費	1			34,227	0	-34,227	観光産業支援事業費へ移管することに伴い廃止します。	観光部	
44	観光産業人材確保・育成事業費	1			32,304	0	-32,304	観光産業支援事業費へ移管することに伴い廃止します。	観光部	
45	観光産業魅力発信事業費	1			5,476	0	-5,476	観光産業支援事業費へ移管することに伴い廃止します。	観光部	
◇	46	拠点滞在型観光推進事業費 (旧 拠点滞在型観光推進事業費) (旧 みえガストロノミーリズム推進事業費)		1		587,747	37,026	-550,721	事業をより効率的に実施するため、拠点滞在型観光推進事業費とみえガストロノミーリズム推進事業費を統合します。	観光部
□	47	観光客受入環境整備事業費 (旧 観光客受入環境整備事業費) (旧 みえの風土を活用した観光推進事業費)		1		56,758	647,577	590,819	事業をより効率的に実施するため、観光客受入環境整備事業費とみえの風土を活用した観光推進事業費を統合します。	観光部
	48	みえガストロノミーリズム推進事業費	1			25,718	0	-25,718	みえガストロノミーリズムの推進について、他の滞在価値と併せて効果的に魅力発信していくため、拠点滞在型観光推進事業費へ移管することに伴い廃止します。	観光部
	49	みえの風土を活用した観光推進事業費	1			27,644	0	-27,644	高付加価値旅行者向けガイド人材育成推進事業を観光客受入環境整備事業費へ移管することに伴い廃止します。	観光部
	50	みえ観光の産業化推進事業費	1			293,340	0	-293,340	大都市圏プロモーション事業費と観光誘客促進事業費へ移管することに伴い廃止します。	観光部
▲	51	次期三重県建設産業活性化プラン策定費			1	366	0	-366	4年に1度の「次期三重県建設産業活性化プラン」の策定作業が終了したため、次回策定実施まで休止します。	県土整備部
▲	52	街路樹跡花とみどり活用事業費	1			1,035	0	-1,035	事業実施期間終了に伴い廃止します。	県土整備部
▲	53	運転免許センター中型汎用電算機運用経費	1			73,181	0	-73,181	令和7年1月から警察庁共通基盤による新運転者管理システムへ移行することに伴い廃止します。	警察本部

番号	細事業名	区分			令和6年度	令和7年度	差引	説明	部局名
		廃止	リファーム	休止	当初予算額A	当初予算額B	B-A		
54	「みえの未来を創る」教員の魅力発信・環境整備事業費	1			7,482	0	-7,482	事業をより効率的に実施するため、教員の魅力発信事業については、教員不足解消に向けた緊急対策事業費、学校問題解決支援事業については、管理企画費において実施することに伴い廃止します。	教育委員会
55	夜間中学設置準備事業費	1			431,573	0	-431,573	北勢地域における夜間中学体験教室については、夜間中学体験教室運営事業費において引き続き実施し、令和7年4月に県立夜間中学「みえ四葉ヶ咲中学校」が開校することに伴い、夜間中学設置準備事業費を廃止します。	教育委員会
合計		30	17	8	2,945,707	1,888,663	-1,057,044		

8. 引上げ分の地方消費税収と社会保障施策に要する経費

○地方消費税率引上げによる増収分の全ては、社会保障施策に要する経費に充てられます。

引上げ分(1.2%分)の地方消費税収 252億円
 (社会保障財源化分の市町交付金を除く。)

社会保障施策に要する経費(※) 1,243億円
 (※)社会保障施策とは、社会福祉、社会保険及び保健衛生に関する施策をいいます。

○社会保障施策に要する経費と引上げ分の地方消費税収の差額991億円については、その他の一般財源で賅っています。

○社会保障施策に要する経費のうちには、社会保障の充実分として以下の経費が含まれています。 (単位:百万円)

事項	事業内容	R7活用額
子ども・子育て支援	子ども・子育て支援新制度の着実な実施 ・教育・保育給付事業費 ・地域子ども・子育て支援等事業 ・放課後児童対策事業費補助金 社会的養育の充実 ・児童入所施設措置費 ・児童保護措置費等負担金	3,688
医療・介護サービスの提供体制改革	病床の機能分化・連携、在宅医療の推進等 地域医療介護総合確保基金(医療分) ・医師確保対策事業等 診療報酬改定における消費税増収分等の活用分 ・国民健康保険事業特別会計繰出金	1,317
	地域包括ケアシステムの構築 平成27年度介護報酬改定における消費税増収分等の活用分 (介護職員の処遇改善等) ・介護給付費県負担金 在宅医療・介護連携、認知症施策の推進など地域支援事業の充実 ・地域支援事業県交付金 地域医療介護総合確保基金(介護分) ・三重県介護従事者確保事業費補助金 令和4年度における介護職員の処遇改善 ・介護給付費県負担金 令和6年度における介護職員の処遇改善 ・介護給付費県負担金	3,897
医療・介護	国民健康保険等の低所得者保険料軽減措置の拡充 ・国民健康保険保険料軽減措置の拡充 (うち、低所得者保険料軽減措置の拡充分) ・後期高齢者医療保険料軽減措置の拡充 (うち、低所得者保険料軽減措置の拡充分) 子どもに係る国民健康保険料等の均等割額の減額措置 ・国民健康保険料軽減措置の拡充 70歳未満の高額療養費制度の改正 ・国民健康保険事業特別会計繰出金	1,756
	医療・介護保険制度の改革 介護保険の第1号保険料の低所得者軽減強化 ・介護保険料軽減措置の拡充 国民健康保険への財政支援の拡充 (低所得者数に応じた財政支援、保険者努力支援制度等) ・国民健康保険保険料軽減措置の拡充 (うち、保険者支援制度の拡充分) 国民健康保険の産前産後保険料の免除 ・国民健康保険保険料軽減措置の拡充 こども医療費助成に係る国民健康保険の減額調整措置の廃止 ・国民健康保険事業特別会計繰出金	
難病・小児慢性特定疾病への対応	難病・小児慢性特定疾病に係る公平かつ安定的な制度の運用等 ・指定難病等対策事業費 ・小児慢性特定疾病対策事業費	1,816
人づくり革命	待機児童の解消 幼児教育・保育の無償化 介護人材の処遇改善 高等教育の無償化等	6,427
合 計		18,901

※数値は四捨五入によるため、内訳と合計が一致しないことがあります。